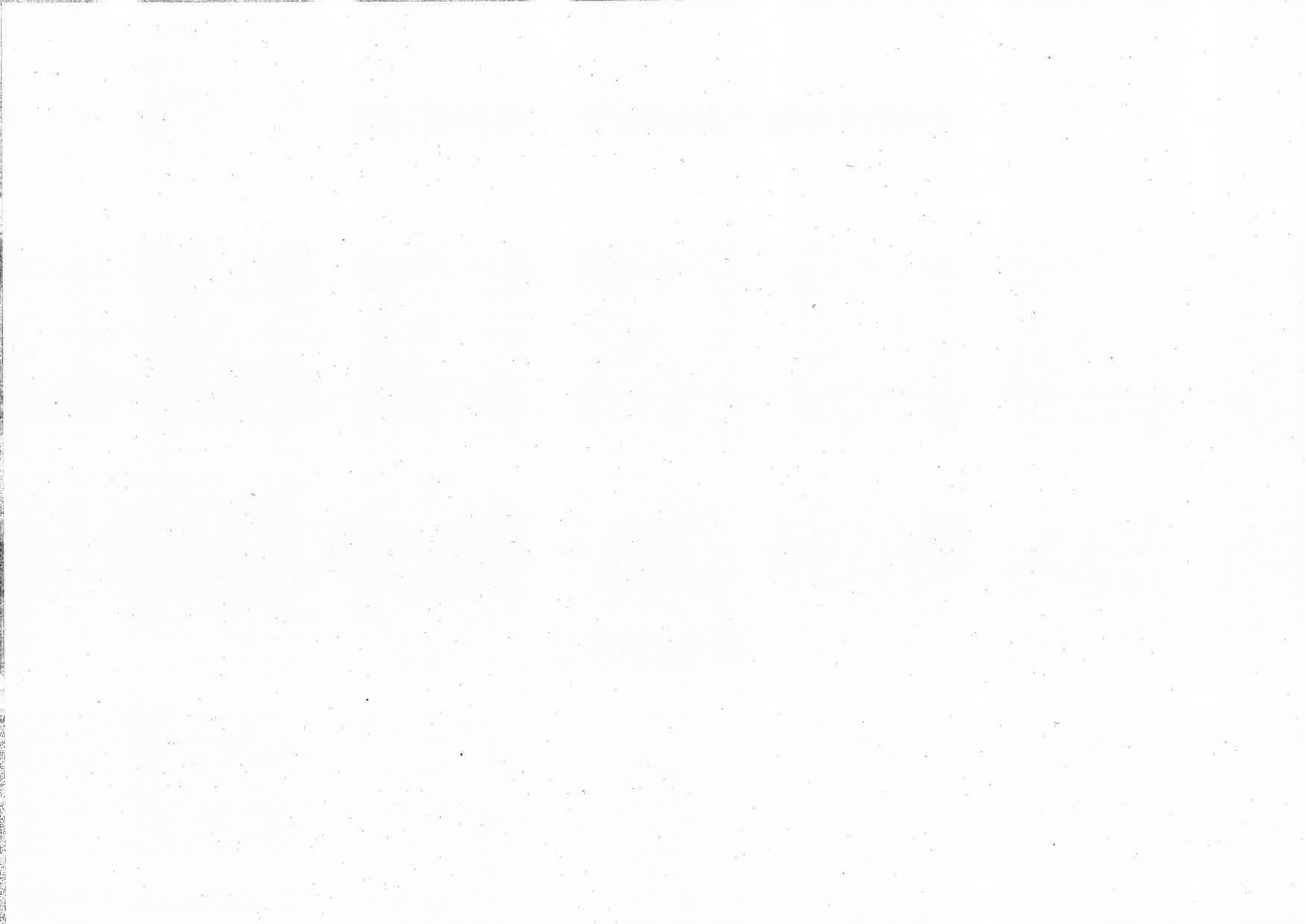


令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会



# 目 次

## 事業の進行管理

第3次山梨県社会福祉協議会強化発展計画に基づく事業の進行管理	1
--------------------------------	---

## 推進施策・実施事業

### 推進施策1 だれもがつながり、支え合う体制づくり

実施事業(1) 市町村社会福祉協議会が行う住民の身近な地域における「支え合い」「助け合い」のための体制づくりへの支援	3
1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(地域支え合いプロジェクト) 地域福祉推進事業)	
2 山梨県ボランティア・NPOセンターの共同運営	
3 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(地域支え合いプロジェクト)	
4 市町村社会福祉協議会支援事業	
実施事業(2) 社会福祉法人が行う公益的な取り組み及びセーフティネットの拡充への取り組み促進	15
1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(地域支え合いプロジェクト)(※再掲)	
2 社会福祉法人等の公益的な取り組みへの支援	
実施事業(3) 地域の支え合い活動及び活動に参加するきっかけとなる場づくりへの支援	18
1 長寿やまなし振興事業	
2 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(地域支え合いプロジェクト)(※再掲)	
3 住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会議の開催	
実施事業(4) コロナ禍においても、つながり続ける取り組みへの支援	23
1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(地域支え合いプロジェクト)(※再掲)	
2 市町村社会福祉協議会支援事業	

## **推進施策2 多様な組織が連携・協働する支援体制づくり**

実施事業(1) 市町村の包括的支援体制づくりにおける市町村社会福祉協議会の取り組みへの支援	25
1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(地域支え合いプロジェクト)(※再掲)	
2 市町村社会福祉協議会支援事業	
実施事業(2) コロナ禍の影響を受けた人々に対する相談・支援体制の強化	27
1 相談貸付事業	
2 生活困窮者自立支援事業(町村部)	
3 日常生活自立支援事業	
4 1~3の事業間の連絡・連携強化	
実施事業(3) 個人や地域が抱える複雑で多様な福祉課題の解決のための市町村における行政、福祉専門機関、NPO、ボランティア、企業、住民組織等によるネットワークづくりへの支援	37
1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(地域支え合いプロジェクト)(※再掲)	
2 山梨ともしび基金助成事業の実施	
3 山梨善意銀行の運営	
4 福祉活動支援事業	
実施事業(4) 各種別協議会(高齢・障害・児童分野)への支援を通じた、様々な地域福祉活動の活性化	40
1 各種別協議会の事務局運営支援と協働事業実施	
実施事業(5) 利用者の立場に立った福祉サービスの質の向上	59
1 福祉サービス第三者評価事業の実施	
2 福祉サービス苦情解決事業の実施	
3 地域密着型サービス外部評価事業の実施	

## **推進施策3 地域福祉を支える人づくり**

実施事業(1) 福祉・介護サービスに携わる人材の確保とすそ野の拡大	62
① 1 介護事業者への支援	
2 福祉・介護に関する相談・就業促進事業	
3 福祉・介護に関する理解促進事業	
4 福祉・介護に関する魅力発信事業	
5 介護人材の確保に係る貸付事業	
6 潜在保育士等の就職に関する相談等の支援	

7 保育人材の確保に係る貸付事業	
8 介護等体験受入調整事業	
実施事業(2) 福祉・介護職員の定着支援	80
1 福祉・介護分野への定着支援事業	
2 保育士の交流の場づくり	
3 保育人材の定着に係る貸付事業	
4 退職手当等共済事業	
5 福利厚生センター事業	
実施事業(3) 健全な施設運営と働きやすい職場づくりを推進するための福祉・介護サービスの運営支援	86
1 福祉・介護施設運営支援事業	
2 保育士の働き方改革の支援事業	
3 保育人材の確保に係る貸付事業	
4 福祉施設経営指導事業	
実施事業(4) 福祉・介護職員を支援するための現場ニーズに応じたオンラインを活用した新たなスタイルによる研修	90
1 福祉・介護職員を対象とした専門的な知識・技術研修	
2 現場のニーズに応じた自主研修事業	
3 新たなスタイルでの研修の検討・実施	
実施事業(5) 地域福祉への理解・参加促進	95
① 1 家族介護者等への支援	
2 山梨県社会福祉大会の開催	
3 共同募金活動への協力	

#### **推進施策4 災害に備える体制づくり**

実施事業(1) 山梨県災害救援ボランティア本部機能の強化及び市町村社会福祉協議会における災害対応の取り組みへの支援	99
1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(災害時支え合いプロジェクト)	
2 山梨県災害救援ボランティア本部機能の強化	
実施事業(2) 関係者と連携したネットワークの組織化による災害時の広域支援体制の構築及び協議・検討する場の整備	101
1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(災害時支え合いプロジェクト)	
実施事業(3) 福祉関係者と連携・協働した様々な感染症に対応した災害支援体制づくり	103
1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(災害時支え合いプロジェクト)	

## **推進施策5 県社会福祉協議会の組織・基盤の充実強化**

実施事業(1) 人材育成・事務局体制の強化	104
1 職員研修の充実	
2 資格取得推進事業	
3 事業継続計画(BCP)の策定・運用	
実施事業(2) 継続的な組織運営に必要な財源の確保・コスト削減の推進	107
1 会費・寄付金等の財源の確保・充実	
2 経常経費の支出削減	
実施事業(3) 戦略的情報発信の強化	108
1 広報メディアの効率的な活用促進	
2 ホームページとSNSの連携による情報発信の強化	
実施事業(4) 職員が働きがいのある魅力的な職場づくり	110
1 職員の働きやすい制度・職場環境の充実	
2 職員提案事業の実施	
実施事業(5) ICT環境の整備・強化を通じた業務の効率化の促進	112
1 ICT機器の検討・整備	
2 職員のICTスキルアップ研修	

## 事業の進行管理

### 第3次山梨県社会福祉協議会強化発展計画に基づく事業の進行管理

(総務企画課)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>第3次強化発展計画(計画期間:令和4年4月~令和9年3月)に定める基本目標「だれもがつながり、ともに支え合い、すべての人々が安心して暮らせる地域共生社会の実現」を目指し、役職員が一丸となって事業推進に取り組む。</p> <p>1 令和5年度理事会・評議員会・監事会開催日(予定)</p> <p>(1) 監事会 5月18日(木)</p> <p>(2) 理事会</p> <p>第1回 6月7日(水)</p> <p>臨時 6月23日(金)</p> <p>第2回 11月10日(金)</p> <p>第3回 令和6年3月19日(火)</p> <p>(3) 評議員会</p> <p>定時 6月23日(金)</p> <p>第2回 11月28日(火)</p>	<p>1 令和5年度理事会・評議員会・監事会の開催</p> <p>(1) 監事会 5月18日(木)</p> <p>(2) 理事会</p> <p>第1回 参集 6月7日(水) 事業報告・決算の件、理事・監事候補者の選定の件、評議員候補者の選定の件、定時評議員会の招集の件、社会福祉充実残額の件ほか</p> <p>臨時 書面 6月23日(金) 会長選定の件、副会長選定の件、常務理事選定の件</p> <p>第2回 参集 11月10日(金) 評議員選任・解任委員会の補充選任の件、評議員候補者の選定の件ほか</p> <p>第3回 参集 令和6年3月19日(火) 一般会計及び生活福祉資金会計収支補正予算案の件、令和6年度事業計画案の件、令和6年度一般会計及び生活福祉資金会計収支予算案の件、役員等賠償責任保険契約の件、評議員会の招集の件ほか</p> <p>(3) 評議員会</p> <p>定時 参集 6月23日(金) 令和4年度事業報告の件、令和4年度一般会計及び生活福祉資金会計収支決算の件、理事・監事の選任の件、社会福祉充実残額の件ほか</p> <p>第2回 中止 協議事項がないことから、開催せず。中間報告書の送付をもって開催に代えることとした。</p>

計画内容	実施報告 (状況) ※【 】内は前年度実績
<p>第3回 令和6年3月26日(火)</p> <p>2 正副会長会議 正副会長、常務理事、事務局長、各課所長、課長補佐が出席し、重要事項等の協議、事業の進捗状況の報告、及び役員対応行事等の確認を行う。 ・定例毎月1日、臨時として5月、3月の計13回開催</p> <p>3 法人運営会議 常務理事、事務局長、各課所長が出席し、各課所における事業等の協議、正副会長会議に諮る事項等の確認を行う。 ・毎月末日に開催</p>	<p>第3回 参集 令和6年3月26日(火) 令和5年度一般会計及び生活福祉資金会計収支補正予算案の件、令和6年度事業計画案の件、令和6年度一般会計及び生活福祉資金会計当初予算案の件ほか</p> <p>2 正副会長会議 (1) 定例 7回 4月4日(火)、5月9日(火)、8月3日(木)、10月3日(火)、令和6年1月9日(火)、2月1日(木)、3月1日(木) (2) 中止 4回 7月4日(火)、9月1日(金)、11月2日(水)、11月28日(火)、 (3) 臨時 2回 5月25日(木)、令和6年3月11日(月)</p> <p>3 法人運営会議 13回 4月3日(月)、4月25日(火)、5月31日(水)、6月27日(火)、7月25日(火)、8月28日(月)、9月25日(月)、10月24日(火)、11月30日(木)、12月25日(月)、令和6年1月25日(木)、2月26日(月)、3月29日(金)</p>



**推進施策1 だれもがつながり、支え合う体制づくり**

**実施事業（1）市町村社会福祉協議会が行う住民の身近な地域における「支え合い」「助け合い」のための体制づくりへの支援**

（福祉振興課・コミュニティ再生推進室）

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業（地域支え合いプロジェクト）地域福祉推進事業</p> <p>市町村社会福祉協議会職員等が、多様化・複雑化している地域における福祉課題を的確に把握し、事業に繋げるための研修や会議等を開催し、資質向上に寄与する。</p> <p>（1）市町村社会福祉協議会職員研修会</p> <p>①小地域生活課題解決事業</p> <p>地域福祉を推進する人材育成のための研修会を実施（社協活動基盤強化研修、社協活動実践研修）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 年2回</li> <li>・対象 市町村社協職員</li> </ul>	<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業（地域支え合いプロジェクト）地域福祉推進事業</p> <p>（1）市町村社会福祉協議会職員研修会</p> <p>①小地域生活課題解決事業</p> <p>（第1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日 7月31日（月）</li> <li>・会 場 山梨県立図書館 イベントホール東面</li> <li>・参加者 6市町村10名【9市町村13名】</li> <li>・内 容 社協活動基盤強化研修 講義「市町村社会福祉協議会は、地域福祉の推進にどのように取り組むべきか」</li> <li>・講 師 日本福祉大学福祉経営学部福祉マネジメント学科 教授 渋谷 篤男 さん</li> </ul> <p>（第2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日 令和6年2月8日（木）</li> <li>・会 場 山梨県立博物館 生涯学習室</li> <li>・参加者 6市町村8名【12市町村17名】</li> <li>・内 容 社協活動実践研修 講義「周縁化集落（限界集落）の生活課題に対する関わりと実践を考える」</li> <li>・講 師 武蔵野大学人間学部社会福祉学科 教授 渡辺 裕一 さん</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>②地域ボランティア活動支援事業</p> <p>市町村社会福祉協議会ボランティアセンター機能の充実・強化のための研修会を実施(事例検討会、ボランティア活動の普及・啓発・担い手養成、事業計画演習)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 年3回</li> <li>・対象 市町村社協職員</li> </ul>	<p>②地域ボランティア活動支援事業</p> <p>市町村社会福祉協議会ボランティア担当者研修会の開催</p> <p>(第1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日 9月13日(水)</li> <li>・会 場 山梨県立図書館 多目的ホール</li> <li>・参加者 12市町村15名【15市町村18名】</li> <li>・内 容 講義「ボランティア活動の“現在”から“明日”を考える」</li> <li>・講 師 埼玉県川口市社会福祉協議会地域福祉課 課長補佐 かわぐちボランティアセンター 所長 井上 太郎 さん 埼玉県川口市社会福祉協議会地域福祉課 主任 かわぐちボランティアセンター 豊岡 舞 さん</li> </ul> <p>(第2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日 令和6年2月22日(木)</li> <li>・会 場 都留文科大学 6201教室</li> <li>・参加者 6市町村7名【11市町村11名】</li> <li>・内 容 講義「ボランティア活動に若い世代がもっと関わられるようにするために、社会福祉協議会が取り組むべきことはなにか」</li> <li>・講 師 つるっ子プロジェクト実行委員会 梶山 綾伽 さん、 池田 七海 さん、 吉岡 日菜多 さん ゲストハウスゆかり 村松 明登 さん、 武田 まゆ さん、 田村 慶介 さん、 河西 梨乃葉 さん</li> </ul> <p>(第3回) 住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会議と連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日 3月</li> <li>・内 容 「令和5年度 住民参加型在宅福祉サービス団体 活動状況報告書」を作成。25団体に送付し開催にかえた。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【16団体19名】</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>③社協職員合同研修会 市町村社会福祉協議会職員が集まり、社会福祉協議会が抱える課題の解決や、今後の社協活動を強化するための方策について、県内市町村社協の実践事例やノウハウを持ち寄り、学び合いの場を設けることにより市町村社協の組織・基盤強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 年1回</li> <li>・対象 市町村社協職員</li> </ul> <p>2 山梨県ボランティア・NPOセンターの共同運営 山梨県、本会、山梨県ボランティア協会が連携し、地域づくり交流センター内に設置の山梨県ボランティア・NPOセンターの共同運営に参画することにより市町村社会福祉協議会等で実践しているボランティア活動の振興に寄与する。(運営委員会への参画)</p> <p>3 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業 (地域支え合いプロジェクト) 孤独・孤立対策や災害時の福祉支援などの地域の福祉課題の解決に向け、地域支え合い活動を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域におけるつながり強化策の検討・実施</li> <li>・対象 市町村社協、市町村、福祉施設・団体、NPO、地域住民など</li> <li>・内容</li> </ul> <p>(1) モデル事業の実施(5か所:令和4年度から継続3か所、新規2か所)及び検証、報告会の開催</p> <p>(2) 孤独・孤立などの地域の福祉課題の解決に向けた支援体制を整備するため、さまざまな分野の連携強化、モデル事業を含めた取り組みの情報共有、啓発活動などを行う「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」を構築する。目的に賛同する団体などを募り、プラットフォーム事務局として団体などのマッチングを行う。</p>	<p>③社協職員合同研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 11月10日(金)</li> <li>・会場 山梨県立博物館 生涯学習室</li> <li>・参加者 4市町村6名【10市町村12名】</li> <li>・内容 講義「在宅医療の実践から地域の様々な人材との連携に基づく当事者支援の在り方について」</li> <li>・講師 山梨市立牧丘病院 医師 古屋 聡 さん</li> </ul> <p>2 山梨県ボランティア・NPOセンターの共同運営 事務局長が運営委員会に参画した。(10月・3月)</p> <p>3 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業 (地域支え合いプロジェクト)</p> <p>(1) 地域支え合いプロジェクト推進事業 地域生活課題の解決に取り組むことにより、孤独・孤立の解消を図るため、多様な主体との連携によるモデル事業を実施。さらにモデル事業の要点を整理し、ノウハウを提供することにより、他地域における活動への波及をめざしている。</p> <p>①27市町村社協への訪問ヒアリング及び事業説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 6月2日(金)～7月5日(水)</li> <li>・内容 地域支え合いプロジェクト事業骨子及び、やまなし地域福祉応援プラットフォームの説明、モデル事業募集要項の説明・検討依頼</li> </ul> <p>②地域支え合いプロジェクトモデル事業の実施 地域福祉活動推進の中心となる市町村社会福祉協議会からモデル事業を募集・選定。令和5年度は2件の新規モデル事業を決定。</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
	<p>○令和5年度選定先            韮崎市社会福祉協議会／山中湖村社会福祉協議会 計2か所</p> <p>韮崎市社会福祉協議会「ボランティアと社会福祉協議会の連携による移動困難者支援モデルの構築」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 6月14日(水)                内容 事業説明訪問・情報交換</li> <li>・期日 8月23日(水)                内容 事業打ち合わせ訪問、ボランティア移動支援事業の実施計画・スケジュールについて</li> <li>・期日 8月29日(火)                内容 韮崎市社会福祉協議会移動支援ボランティア講座                全国移動支援ネットワークならびに埼玉県吉見町社会福祉協議会による、事例に基づく住民主体の移動支援</li> <li>・期日 10月3日(火)                内容 移動支援ボランティア勉強会                対象者、利用方法、利用内容についての協議</li> <li>・期日 10月11日(水)                内容 地域支え合いフォーラムにらさき</li> <li>・期日 10月24日(火)                内容 移動支援ボランティア会議                全国移動支援ネットワークよりアドバイザーによる、ボランティア団体と移動支援の具体的実施に向けた内容調整</li> <li>・期日 11月16日(木) 韮崎市老人福祉センター                内容 韮崎市移動支援ボランティア養成講座                移動支援ボランティアに必要な実技研修</li> <li>・期日 令和6年2月8日(木)                内容 移動支援ボランティア「おでかけ」立ち上げ式                (サービス開始日)</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
	<p>山中湖村社会福祉協議会「eスポーツを通じた居場所づくりによる地域活動活性化モデルの構築」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 6月28日(水)</li> <li>内容 事業説明訪問・情報交換</li> <li>・期日 8月16日(水)</li> <li>内容 事業打ち合わせ(オンライン) 山中湖フェスタでのeスポーツ体験コーナー運営について</li> <li>・期日 10月1日(日)</li> <li>内容 山中湖フェスタeスポーツ体験コーナー開設 参加人数 のべ207名</li> <li>・期日 10月17日(火)</li> <li>内容 村内関係機関(教育委員会・中学校関係者)と今後の展開の仕方に関する協議 ※部活動もなく、学校が早く終了する日(きずなの日)に「放課後SPACE」の開催を決定</li> <li>・期日 10月24日(火)</li> <li>内容 すまいるカフェ事業eスポーツゲーム体験 参加人数 体験者14名 社協視察見学者4名 (終了後、社協職員との情報交換を実施)</li> <li>・期日 10月30日(月)</li> <li>内容 今後の事業実施に関する打ち合わせ</li> <li>・期日 12月27日(水)</li> <li>内容 社協の冬休み【ゲーム大会】NEW PLACE 1st 参加人数 16名(山中小、東小の1年生～4年生までの児童)</li> <li>・期日 令和6年2月2日(金)</li> <li>内容 富士サロン健康ゲーム ※来所型 参加人数 6名</li> <li>・期日 令和6年3月19日(火)</li> <li>内容 平野サロン健康ゲーム ※訪問型 ゆいの広場 ひらり 参加人数 13名(高齢者8名、小学生5名)</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 令和6年3月24日(日)</li> <li>内容 eスポーツ体験会「きらら 春休み体験Day in山中湖」 参加人数 56名</li> <li>・期日 令和6年3月27日(水)～29日(金)</li> <li>内容 春休みすまいるSPACE</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">その他「eスポーツ イベント運営マニュアル」の作成</p> <p>③令和4年度地域支え合いプロジェクトモデル事業実施先の継続支援</p> <p>○令和5年度継続実施 甲斐市社会福祉協議会／富士川町社会福祉協議会／小菅村社会福祉協議会 計3か所</p> <p>甲斐市社会福祉協議会「子どもや子育て世帯への支援を中心とした地域連携モデルの構築」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 6月8日(木)</li> <li>内容 事業説明訪問・情報交換</li> <li>・期日 6月24日(土)</li> <li>内容 第1回甲斐市社協子ども食堂 視察</li> <li>・期日 7月6日(木)、9月5日(火)</li> <li>内容 甲斐市功德院子ども食堂 視察</li> <li>・期日 9月8日(金)</li> <li>内容 事業打ち合わせ訪問</li> <li>・期日 10月末～11月12日(日)</li> <li>内容 令和5年度子ども支援アンケートの実施 対象 市内児童扶養手当受給世帯 回収率 17.5%(570世帯中100世帯からの回答)</li> <li>・期日 12月2日(土)</li> <li>内容 広域子ども食堂の開催(韮崎市社協との共催)</li> <li>・期日 令和6年3月2日(土)</li> <li>内容 広域子ども食堂の開催(昭和町社協との共催)</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 令和6年3月18日(月)～22日(金) (18日、19日敷島保健福祉センター/21日、22日竜王北部公民館)</li> <li>内容 春休み子ども食料支援</li>   <li>富士川町社会福祉協議会「他機関との情報共有による地域の見守り支援体制づくりの展開モデルの構築」</li> <li>・期日 4月18日(火)</li> <li>内容 富士川町における孤独・孤立を考える町社協職員研修会</li> <li>・期日 6月13日(火)</li> <li>内容 事業説明訪問・情報交換</li> <li>・期日 10月2日(月)</li> <li>内容 事業打ち合わせ訪問(関係機関からの情報収集について、見守り支援について)</li> <li>・期日 11月9日(木)</li> <li>内容 山梨県警察への見守り体制にかかる相談・協議</li>   <li>小菅村社会福祉協議会「過疎地域における地域福祉活動展開モデルの構築」</li> <li>・期日 7月5日(水)</li> <li>内容 事業説明訪問・情報交換</li> <li>・期日 7月22日(土)</li> <li>内容 村盆踊り大会(村社協も協力する村民有志による実行委員会にて実施)</li> <li>・期日 令和6年3月13日(水)</li> <li>内容 小菅村の「地域づくり」を考える研修会～地域支え合いプロジェクト～ 参加人数 62名 (村社協役員、村役場職員、村議会議員、民生委員・児童委員、村外社協職員)</li> <li>講師 NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘 さん</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
	<p>④モデル事業に関する情報発信  やまなし地域福祉応援プラットフォームで実施するやまなし地域福祉フォーラムや情報メディア「わたあめ」、YAMANASHI SDGs FORUMでの冊子配布</p> <p>⑤市町村社会福祉協議会職員向け コミュニティコーピング研修の開催  (会場：南アルプス市／富士河口湖町)  ・期日 8月1日(火) 南アルプス市社会福祉協議会  2日(水) 富士河口湖町社会福祉協議会  参加人数 15名(14 社会福祉協議会)  講師 一般社団法人コレカラ・サポート代表理事 千葉 晃一 さん  コミュニティコーピング認定ファシリテーター  保坂 和輝 さん</p> <p>(2) やまなし地域福祉応援プラットフォーム運営事業  社会とのつながりの弱い人々の地域生活課題は多様化・複雑化しており、官・民の枠を超えたネットワークによる活動の推進や、社会資源の充実が求められている。つながりを活かした地域福祉活動の活性化を図ることが、孤独・孤立を防ぎ、人とのつながりの感じられる地域社会をつくるための重要な要素となっている。孤独・孤立の状況に陥ることのない環境を整えるため、共通理解を深め、様々な活動主体との横断的な取り組みを促進し、相互に支え・応援する仕組みづくりを目的としたプラットフォームづくりをすすめている。</p> <p>やまなし地域福祉応援プラットフォームへの加入状況  入会数 目標 50件 実績 23件 (達成率 46%)</p>



計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
	<p>①やまなし地域福祉フォーラムの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 令和6年3月6日(水) 山梨市民会館大ホール</li> <li>参加人数 93名</li> <li>登壇者 <ul style="list-style-type: none"> <li>早稲田大学文学学術院 文化構想学部 教授 石田 光規 さん (講演講師・コメンテーター)</li> <li>日本青年会議所関東地区山梨ブロック協議会 第53代代表 森屋 真一郎 さん</li> <li>甲斐市社会福祉協議会 地域福祉係 係長 雨宮 周太 さん</li> <li>一般社団法人ヒトナリ 代表理事 上田 潤 さん</li> <li>登校支援型フリースクールにじLabo 田巻 典子 さん</li> <li>やまなし地域福祉応援プラットフォームアドバイザー 保坂 和輝 さん(コーディネーター)</li> </ul> </li> </ul> <p>②やまなし地域福祉応援プラットフォームホームページの開設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>やまなし地域福祉応援プラットフォーム Instagram の開設・運用</li> <li>・期日 5月10日(水)</li> <li>状況 フォロワー122名(3月末時点) 投稿数 22件</li> <li>やまなしの地域づくりを応援する情報メディア「わたあめ」の開設</li> <li>・期日 令和6年3月13日(水)</li> <li>状況 投稿記事数 5件(3月末時点)</li> </ul> <p>③定期的な情報交換の実施(年6回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動を学び合うオンライン情報交換CO-CANKAI(コークンカイ)の実施</li> </ul> <p>子どもの貧困について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 10月27日(金)</li> <li>講師 NPO法人こどもサポートやまなし事務局長 木村 輝三 さん</li> <li>参加人数 9名</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
	<p>交通と福祉を考えるー地域でできる移動支援を学ぶー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 11月22日(水)</li> <li>講師 国土交通省関東運輸局山梨運輸支局 企画輸送・監査担当 石渡 峻大 さん NPO法人全国移動サービスネットワーク 事務局長 伊藤 みどり さん</li> <li>参加人数 14名</li> </ul> <p>越境ミーティングー過疎地域におけるまちづくりー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 12月21日(木)</li> <li>講師 山梨県 小菅村社会福祉協議会 加藤 弘美 さん 静岡県 西伊豆町社会福祉協議会 藪田 栄和 さん 長野県 栄村社会福祉協議会 広瀬 義昭 さん</li> <li>参加人数 37名</li> </ul> <p>居場所づくり研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 令和6年1月24日(水)</li> <li>講師 NPO法人ちびっこはうす 理事長 内藤 香織 さん</li> <li>参加人数 15名</li> </ul> <p>はたらく・ささえる研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 令和6年2月20日(火)</li> <li>講師 富士市ユニバーサル就労支援センター グループ長 須藤 範子 さん、三好 泰枝 さん</li> <li>参加人数 9名</li> </ul> <p>社会資源探求! - お寺 -</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 令和6年3月21日(木)</li> <li>講師 一般社団法人SOCIALTEMPLE 代表理事 近藤 玄純 さん</li> <li>参加人数 6名</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
	<p>④入会団体・企業の連携した取り組みのコーディネート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 12月19日(火) 山梨県福祉プラザ4階</li> <li>リコージャパン株式会社山梨支社×山梨県社会福祉協議会共催</li> <li>SDGs推進企業の経営者・総務人事担当者様向けセミナー</li> <li>「誰もが活躍できる企業づくりのヒントを学ぶ」</li> <li>講師 リコージャパン株式会社 人事・コーポレート本部</li> <li>西澤 陽一郎 さん&amp;ラッキーくん(介助犬)</li> <li>KEIPE株式会社</li> <li>代表取締役 赤池 侑馬 さん</li> <li>就労移行支援事業部長 諸貫 裕佑 さん</li> <li>参加人数 33名</li> </ul> <p>⑤その他</p> <p>YAMANASHI SDGs FORUMへのブース出展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 令和6年3月10日(日)</li> <li>内容 山梨県が主催する標記イベントへ出展し、事業に関する冊子配布</li> <li>配布部数 120部</li> </ul> <p>コミュニティコーピング研修派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 12月7日(木) 上野原市社会福祉協議会</li> <li>12月11日(月) 山中湖村社会福祉協議会</li> <li>12月14日(木) 都留市社会福祉協議会</li> <li>講師 やまなし地域福祉応援プラットフォームアドバイザー</li> <li>保坂 和輝 さん</li> <li>(コミュニティコーピング認定ファシリテーター)</li> <li>森 彰司 さん ※12月14日の都留市のみ</li> <li>(コミュニティコーピング認定ファシリテーター)</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>4 市町村社会福祉協議会支援事業</p> <p>(1) 地域福祉活動計画の策定支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉活動計画未策定の社協(6町村)及び、計画見直し社協への支援を行う。</li> </ul> <p>(2) 地域福祉ボランティア担当者会議</p>	<p>4 市町村社会福祉協議会支援事業</p> <p>(1) 地域福祉活動計画の策定支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未策定町村への情報提供等を行った。 計画未策定町村 5町村(早川町・忍野村・山中湖村・小菅村・丹波山村) 【5町村】</li> <li>・計画見直し支援2市町(富士吉田市、富士河口湖町) 富士吉田市(8月) 富士河口湖町(6月、7月、10月、11月)</li> </ul> <p>(2) 地域福祉ボランティア担当者会議</p> <p>市町村社会福祉協議会ボランティア担当者研修(9月13日(水))と併せて実施。</p>

**推進施策1 だれもがつながり、支え合う体制づくり**

**実施事業（2）社会福祉法人が行う公益的な取り組み及びセーフティネットの拡充への取り組み促進**

（福祉振興課・コミュニティ再生推進室）

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業 （地域支え合いプロジェクト）（※再掲）</p> <p>孤独・孤立対策や災害時の福祉支援などの地域の福祉課題の解決に向け、地域支え合い活動を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域におけるつながり強化策の検討・実施</li> <li>・対象 市町村社協、市町村、福祉施設・団体、NPO、地域住民など</li> <li>・内容 （1）モデル事業の実施（5か所：令和4年度から継続3か所、新規2か所）及び検証、報告会の開催 （2）孤独・孤立などの地域の福祉課題の解決に向けた支援体制を整備するため、さまざまな分野の連携強化、モデル事業を含めた取り組みの情報共有、啓発活動などを行う「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」を構築する。目的に賛同する団体などを募り、プラットフォーム事務局として団体などのマッチングを行う。</li> </ul>	<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業（再掲） ※推進施策（1）－実施事業（1）－3を参照</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>2 社会福祉法人等の公益的な取り組みへの支援(※山梨県社会福祉法人経営者協議会と連携)</p> <p>(1) 社会福祉法人地域連絡会の設立推進及び運営支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設立済(峡南地域、南アルプス市)への運営支援と、県社会福祉法人経営者協議会と連携し未設立地域への支援を行う。</li> </ul> <p>(2) 社会福祉施設役員研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施回数 年1回</li> <li>・ 対象 社会福祉法人役職員</li> <li>・ 人数 50名</li> </ul>	<p>2 社会福祉法人等の公益的な取り組みへの支援(※山梨県社会福祉法人経営者協議会と連携)</p> <p>(1) 社会福祉法人地域連絡会の設立推進及び運営支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉法人の公益的な取組の現況調査の実施</li> </ul> <p>調査期間 12月1日～12月31日</p> <p>対象法人数 249法人【247】</p> <p>実施法人数 117法人【96】 (現況報告書登載) 47%【39%】 77法人【39】に対して個別に指導助言</p> <p>(2) 社会福祉施設役員研修会の開催</p> <p>(第1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期 日 8月25日(金)</li> <li>・ 会 場 アピオ甲府タワー館</li> <li>・ 参加者 20法人27名【37法人37名】</li> <li>・ 内 容 講義「経営セミナー」</li> <li>・ 講 師 全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 遠部 敦也 さん</li> </ul> <p>(第2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期 日 11月24日(金)</li> <li>・ 会 場 ベルクラシック甲府</li> <li>・ 参加者 23法人43名【18法人23名】</li> <li>・ 内 容 講演「リーダーシップの7つのルール」</li> <li>・ 講 師 (株)オープンプラットフォーム 代表取締役 池田 貴将 さん</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(3) 社会福祉法人のニーズ把握のためのアンケートの実施</p>	<p>(第3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日 令和6年2月8日(木)</li> <li>・会 場 アピオ甲府タワー館</li> <li>・参加者 33法人46名【22法人27名】</li> <li>・内 容 講義「経営セミナー」</li> <li>・講 師 全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 大崎 雅子 さん</li> </ul> <p>(3) 社会福祉法人のニーズ把握のためのアンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー参加者に対して実施</li> </ul>

## 推進施策1 だれもがつながり、支え合う体制づくり

### 実施事業(3) 地域の支え合い活動及び活動に参画するきっかけとなる場づくりへの支援

(福祉振興課・コミュニティ再生推進室)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>1 長寿やまなし振興事業 高齢者の健康・生きがい・仲間づくりを推進し、社会参加活動の促進につなげる。</p> <p>(1) いきいき山梨ねんりんピックの開催 (開催時期) 令和5年9月23日(土)をメイン開催日とする。 (分散開催の対応も含む) (会場) 小瀬スポーツ公園 他 (事業概要) 高齢者総合スポーツ大会、山梨県シニアゲートボール大会、ふれあいスポーツフェア、趣味の広場</p> <p>(2) 全国健康福祉祭えひめ大会山梨県選手団選手派遣 (開催期間) 令和5年10月28日(土)～10月31日(火) (開催地) 愛媛県内20市町 (参加予定種目) 卓球、テニスなど28種目(※俳句を除く) (参加予定人数) 262名</p>	<p>1 長寿やまなし振興事業</p> <p>(1) いきいき山梨ねんりんピックの開催 ・期 日 9月23日(土) ・会 場 小瀬スポーツ公園他 ・参加者・選手・役員 3,247名【959名】 ・内 容 ①高齢者総合スポーツ大会(ジョギング大会他8種目) ②第40回山梨県シニアゲートボール大会 ③ふれあいスポーツフェア (シルバーソフトボール交流大会他8種目) ④趣味の広場 (シルバー囲碁交流大会他2種目)</p> <p>(2) 全国健康福祉祭えひめ大会山梨県選手団選手派遣 ①山梨県選手団結団壮行式の開催 ・期 日 10月17日(火) ・会 場 緑ヶ丘スポーツ公園 大体育館 ・参加者 選手・役員 60名【21名】 ・内 容 選手団結成(卓球ほか17種目) 団長 高野孫左エ門(県社協会長) 旗手 渡邊 俊夫選手 (大会参加 計154名 卓球ほか17種目)</p>



計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
	<p>②第35回全国健康福祉祭えひめ大会への山梨県選手団の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 間 10月28日(土)～10月31日(火)</li> <li>・会 場 愛媛県内各会場</li> <li>・参加者 154名【185名】</li> <li>・派遣種目 18種目 卓球/ソフトボール/ゲートボール/ペタンク/ゴルフ/マラソン 弓道/剣道/水泳/グラウンド・ゴルフ/ラグビーフットボール/ サッカー/ソフトバレーボール/ウォークラリー/太極拳/軟式 野球/ダンススポーツ/健康マーじゃん</li> <li>・大会結果 優勝 マラソン(70歳以上 3km 女性 名取和子) 準優勝 マラソン(60～69歳 10km 男性 浅川晴俊) 第3位水泳(50m 平泳ぎ 60～64歳 女性 太田礼子・50m 平泳ぎ 75～79歳 女性 津金秀子・25m 75～79歳 女性 津金 秀子)・ソフトバレーボール(1位グループ5組 TSV) 優秀賞 健康マーじゃん(個人戦 村松厚)・ラグビーフットボ ール(2戦2勝)・最高齢者賞 ウォークラリー(杉田明 87 歳)・高齢者賞 マラソン(石川正男 85歳)、軟式野球(武藤 常二 84歳)</li> </ul> <p>③帰県報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日 12月15日(金)</li> <li>・会 場 山梨県庁 別館正庁</li> <li>・参加者 各種目代表者及び入賞者等 15名【19名】</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(3) 山梨県シルバー作品展・俳句大会の開催  (開催期間) 令和5年6月16日(金)～18日(日)  (会場) 山梨県立図書館 イベントスペース  (展示部門) シルバー作品展: 日本画、洋画、彫刻、工芸、写真、書(6部門)  シルバー俳句大会: 1人2句以内(雑詠)</p> <p>(4) 高齢者地域リーダーの活動促進(ことぶきマスター人材バンクの運営)  ①ことぶきマスター人材バンク登録者  (令和5年1月末 個人90名・グループ20団体)  (主な派遣先) 高齢者介護施設、地域自治会、市町村(ふれあいサロンなど)</p>	<p>(3) 山梨県シルバー作品展・俳句大会の開催  ①山梨県シルバー作品展  ・期間 6月16日(金)～18日(日)  ・審査会 6月16日(金) 審査員4名  ・会場 山梨県立図書館1階イベントスペース  ・出品点数  日本画:24点、洋画:36点、彫刻:14点、工芸:41点  書:34点、写真:38点 計187点【187点】  ・出品最高齢者  男性98歳(市川三郷町)  女性101歳(富士川町) (出品者平均年齢:81歳)【80歳】  ②山梨県シルバー俳句大会  ・期日 審査会5月12日(金) 審査員3名  ・会場 山梨県福祉プラザ4階会議室  ・投句数 751句【788句】  (内訳) 男性118名・女性263名 計381名【401名】  ③全国健康福祉祭美術展への出品  各部門から2点 計12点出品  ・写真の部:金賞</p> <p>(4) 高齢者地域リーダーの活動促進(ことぶきマスター人材バンクの運営)  ①ことぶきマスター人材バンク登録者(令和6年3月末時点)  個人登録 90名【90名】  グループ 18団体【20団体】  ・登録者の派遣実績  派遣件数50件【29件】  派遣人数延べ85名【32人】  (内訳) 高齢者施設38件【27件】 障害者施設7件【0件】  市町村・市町村社協1件【1件】  地域・自治会0件【1件】 その他4件【0件】</p>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>②ことぶきマスター研修会の開催（事例発表、交流会、実践活動発表） （開催時期）令和6年1月下旬～2月上旬のうち1日を予定</p> <p>2 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業 （地域支え合いプロジェクト）（※再掲） 孤独・孤立対策や災害時の福祉支援などの地域の福祉課題の解決に向け、地域支え合い活動を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域におけるつながり強化策の検討・実施</li> <li>・対象 市町村社協、市町村、福祉施設・団体、NPO、地域住民など</li> <li>・内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) モデル事業の実施（5か所：令和4年度から継続3か所、新規2か所）及び検証、報告会の開催</li> <li>(2) 孤独・孤立などの地域の福祉課題の解決に向けた支援体制を整備するため、さまざまな分野の連携強化、モデル事業を含めた取り組みの情報共有、啓発活動などを行う「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」を構築する。目的に賛同する団体などを募り、プラットフォーム事務局として団体などのマッチングを行う。</li> </ul> </li> </ul>	<p>②ことぶきマスター研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日 令和6年1月23日（火）</li> <li>・会 場 山梨県立青少年センター 別館 多目的ホール</li> <li>・内 容 認定証交付式・交流会</li> <li>・参加者 27名【中止】 新規認定者：4名、ことぶきマスター：19名 市町村・関係機関：4名</li> </ul> <p>2 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業（再掲） （地域支え合いプロジェクト） ※推進施策（1）－実施事業（1）－3を参照</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>3 住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会議の開催 住民自身による地域の支えあい活動の推進を図るため、住民参加型在宅福祉サービスに取り組む団体の情報共有を図る。</p> <p>(1) 住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会議の実施(年1回) (地域ボランティア活動支援事業と連動して開催)</p> <p>(2) 住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会への参加(幹事会・総会)</p>	<p>3 住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会議の開催</p> <p>(1) 住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会議の開催(再掲) (地域ボランティア活動支援事業と連動して開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日 3月</li> <li>・内 容 「令和5年度 住民参加型在宅福祉サービス団体 活動状況報告書」を作成。25団体に送付し開催にかえた。 【16団体19名】</li> </ul> <p>(2) 住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会への参加</p> <p>①幹事会</p> <p>(第1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日 7月11日(火) オンライン開催</li> </ul> <p>(第3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日 12月14日(木) オンライン開催</li> </ul> <p>②総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日 令和6年2月19日(月) オンライン開催</li> </ul>

## 推進施策1 だれもがつながり、支え合う体制づくり

### 実施事業（4）コロナ禍においても、つながり続ける取り組みへの支援

（福祉振興課・コミュニティ再生推進室）

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業 （地域支え合いプロジェクト）（※再掲）</p> <p>孤独・孤立対策や災害時の福祉支援などの地域の福祉課題の解決に向け、地域支え合い活動を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域におけるつながり強化策の検討・実施</li> <li>・対象 市町村社協、市町村、福祉施設・団体、NPO、地域住民など</li> <li>・内容</li> </ul> <p>（1）モデル事業の実施（5か所：令和4年度から継続3か所、新規2か所）及び検証、報告会の開催</p> <p>（2）孤独・孤立などの地域の福祉課題の解決に向けた支援体制を整備するため、さまざまな分野の連携強化、モデル事業を含めた取り組みの情報共有、啓発活動などを行う「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」を構築する。目的に賛同する団体などを募り、プラットフォーム事務局として団体などのマッチングを行う。</p>	<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業（再掲） （地域支え合いプロジェクト）</p> <p>※推進施策（1）－実施事業（1）－3を参照</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>2 市町村社会福祉協議会支援事業</p> <p>コロナ禍で人がつながりにくい状況であっても、ICTをはじめとした様々な手法を取り入れ、つながりを継続するための取り組みを支援する。</p> <p>(1) 全国・県内の取り組み事例の収集・提供 市町村社協職員を対象とした研修会等での全国、県内の事例発表による情報共有</p> <p>(2) 市町村社協職員へのICTスキルアップ支援</p> <p>①市町村社協職員を対象とした研修会等でのホームページ・SNS等を活用した広報活動の支援</p> <p>②コロナ禍でも、県内市町村社協間のつながりを保つための、オンライン会議等の活用</p>	<p>2 市町村社会福祉協議会支援事業</p> <p>(1) 全国・県内の取り組み事例の収集・提供 ・内容 全国及び県内の事例等各種情報を研修会・会議・メールにて随時共有</p> <p>(2) 市町村社協職員へのICTスキルアップ支援</p> <p>①全国及び県内の事例等各種情報を研修会・会議・メールにて随時共有</p> <p>②コロナ禍でも、県内市町村社協間のつながりを保つための、オンライン会議等の活用 ・内容 各種会議・研修等のオンライン併用開催により実施</p>

## 推進施策2 多様な組織が連携・協働する支援体制づくり

### 実施事業(1) 市町村の包括的支援体制づくりにおける市町村社会福祉協議会の取り組みへの支援

(福祉振興課・コミュニティ再生推進室)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業 (地域支え合いプロジェクト) (※再掲) 孤独・孤立対策や災害時の福祉支援などの地域の福祉課題の解決に向け、地域支え合い活動を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域におけるつながり強化策の検討・実施</li> <li>・対象 市町村社協、市町村、福祉施設・団体、NPO、地域住民など</li> <li>・内容           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) モデル事業の実施(5か所:令和4年度から継続3か所、新規2か所)及び検証、報告会の開催</li> <li>(2) 孤独・孤立などの地域の福祉課題の解決に向けた支援体制を整備するため、さまざまな分野の連携強化、モデル事業を含めた取り組みの情報共有、啓発活動などを行う「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」を構築する。目的に賛同する団体などを募り、プラットフォーム事務局として団体などのマッチングを行う。</li> </ol> </li> </ul> <p>2 市町村社会福祉協議会支援事業 課題別・階層別に市町村社協間の情報共有・交換、課題検討を行う。</p> <p>(1) 事業別・階層別の情報交換会の開催</p> <p>①市町村社協事務局長会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 年1回</li> <li>・対象 市町村社協事務局長</li> </ul>	<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(再掲) (地域支え合いプロジェクト) ※推進施策(1)－実施事業(1)－3を参照</p> <p>2 市町村社会福祉協議会支援事業</p> <p>(1) 事業別・階層別の情報交換会の開催</p> <p>①市町村社協事務局長会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日 7月27日(木)</li> <li>・会 場 山梨県福祉プラザ4階 大ホール ※オンライン併用</li> <li>・参加者 27市町村27名</li> <li>・内 容 主要事業及び課題等の情報交換 「事業経営」と「人材育成」のテーマにて意見交換を実施</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>②市町村社協地域福祉・ボランティア担当者会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 年1回</li> <li>・対象 市町村社協職員</li> </ul> <p>③県内社協職員情報交換会の実施(随時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象 市町村社協職員</li> </ul> <p>④各種相談・情報提供の実施(随時)</p> <p>(2)市町村社協基礎資料の作成</p> <p>①山梨県・市町村社会福祉協議会便覧の作成(年1回)</p> <p>②山梨県・市町村社会福祉協議会職員名簿の作成(年1回)</p> <p>(3)市町村社会福祉協議会主催の大会・研修会・事業等への役職員の派遣(随時)</p>	<p>②市町村社協地域福祉・ボランティア担当者会議の開催(再掲)</p> <p>市町村社会福祉協議会ボランティア担当者研修(9月13日(水))と併せて実施</p> <p>③県内社協職員情報交換会の実施(随時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議・研修の開催に合わせて、随時開催</li> </ul> <p>④各種相談・情報提供の実施(随時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国及び県内の事例等各種情報を研修会・会議・メールにて随時共有</li> </ul> <p>(2)市町村社協基礎資料の作成</p> <p>①山梨県・市町村社会福祉協議会便覧の作成(年1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 10月10日(火)</li> <li>・配布先 各市町村社協へ配布のほか、県社協インターネットホームページ内の情報を更新した。</li> </ul> <p>②-1山梨県・市町村社会福祉協議会職員名簿の作成(年1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 5月23日(火)</li> <li>・配布先 各市町村社協</li> </ul> <p>②-2令和5年度 職員名簿(更新名簿)送付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 7月21日(金)</li> <li>・配布先 各市町村社協</li> </ul> <p>(3)市町村社会福祉協議会主催の大会・研修会・事業等への役職員派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会：5市町、会議：2市町5会議、研修：5市町村8研修</li> <li>【大会：5市町村、会議：4市町村10会議、研修：5市町村7研修】</li> </ul>



## 推進施策2 多様な組織が連携・協働する支援体制づくり

### 実施事業(2) コロナ禍の影響を受けた人々に対する相談・支援体制の強化

(生活支援課)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績																					
<p>1 相談貸付事業 所得の少ない世帯、障害者や介護を必要とする高齢者がいる世帯などからの生活相談に対応するとともに、生活福祉資金などの資金を貸し付け、生活の安定と経済的自立を図ることができるようにする。</p> <p>(1) 生活福祉資金貸付事業 ①貸付 (方法) 生活福祉資金貸付制度要綱に基づき、利用者のニーズに合わせた適正かつ迅速な貸付を行う。 (対象) 低所得者世帯(生計中心者の失業等による生活困窮者世帯を含む。) 障害者世帯(手帳の交付を受けている者がいる世帯) 高齢者世帯(日常生活上療養又は介護を要する65歳以上の者がいる世帯)</p> <p>(貸付対応可能金額・件数) 18,626千円 65件</p>	<p>1 相談貸付事業 (1) 生活福祉資金貸付事業 ①貸付 ・生活福祉資金貸付審査等運営委員会(4回) 5月29日、7月20日、10月19日、令和6年2月20日 ・長期(要保護長期)生活支援資金審査委員会(1回) 令和6年2月20日 ・貸付決定状況(令和5年4月1日～令和6年3月31日)</p> <table border="1" data-bbox="1193 718 2089 1085"> <thead> <tr> <th>資金種類</th> <th>件数(件)</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合支援資金</td> <td>2</td> <td>864,000</td> </tr> <tr> <td>福祉資金(福祉費)</td> <td>7</td> <td>5,423,000</td> </tr> <tr> <td>福祉資金(緊急小口資金)</td> <td>13</td> <td>1,300,000</td> </tr> <tr> <td>教育支援資金</td> <td>12</td> <td>14,594,000</td> </tr> <tr> <td>不動産担保型生活支援資金</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>34 【33】</td> <td>22,181,000 【10,493,000】</td> </tr> </tbody> </table>	資金種類	件数(件)	金額(円)	総合支援資金	2	864,000	福祉資金(福祉費)	7	5,423,000	福祉資金(緊急小口資金)	13	1,300,000	教育支援資金	12	14,594,000	不動産担保型生活支援資金	0	0	合計	34 【33】	22,181,000 【10,493,000】
資金種類	件数(件)	金額(円)																				
総合支援資金	2	864,000																				
福祉資金(福祉費)	7	5,423,000																				
福祉資金(緊急小口資金)	13	1,300,000																				
教育支援資金	12	14,594,000																				
不動産担保型生活支援資金	0	0																				
合計	34 【33】	22,181,000 【10,493,000】																				

計画内容	実施報告 (状況) ※【 】内は前年度実績
<p>②債権管理 (通常貸付)</p> <p>(方法) 償還残額のお知らせ、督促状等の債務者への通知を定期的に行い、債権管理に努めるとともに、滞納世帯に対しては、市町村社協や民生委員と連携した戸別訪問等を通じて、生活・経済状況の聴き取り、償還促進に向けた指導を行う。</p> <p>誠意の見られない債務者に対しては、「少額訴訟」「支払督促」といった法的措置にも取り組むとともに、県外へ転居した債務者については、調査会社への委託による居住地調査を積極的に活用し、償還促進へ繋げる。</p>	<p>②債権管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・償還状況 (福祉資金・離職者支援資金・総合支援資金・不動産担保型生活資金) 元金 14,151 千円 貸付利子 249 千円 延滞利子 1,322 千円 【元金 8,663 千円 貸付利子 143 千円 延滞利子 1,856 千円】</li> <li>・償還免除 (27 件) 【53 件】 元金 13,324,215 円 貸付利子 780,814 円 延滞利子 13,098,413 円 【元金 12,849,513 円 貸付利子 770,367 円 延滞利子 12,434,047 円】</li> <li>・滞納者世帯相談・戸別訪問 (19 件) 【10 件】 感染対策を徹底するなかで、長期滞納債権者宅を訪問、償還指導及び生活状況調査を実施</li> <li>・督促通知等</li> <li>・貸付金償還残額のお知らせ (1 回) 【1 回】 1 月…251 件 (全債務者)、及び担当民生委員 145 名</li> <li>・徴収困難債権にかかる法的措置</li> <li>・内容証明郵便催告書 (13 件) 【9 件】 償還期限到来後 2 年以上経過かつ償還のない債権に対して送付</li> <li>・少額訴訟 (2 件) 【3 件】</li> <li>・支払督促 1 件 【0 件】</li> <li>・債権回収会社への委託による県外転出者訪問調査 (5 件) 【5 件】</li> <li>・全国、関東ブロック会議等への出席 (参加)</li> <li>・都道府県社協生活福祉資金担当部課長会議 3 回 (4 月 20 日 (WEB)、5 月 15 日～16 日、11 月 30 日 (WEB))</li> <li>・全国生活福祉資金貸付事業担当職員研修会 1 回 (7 月 24 日～25 日)</li> <li>・関東ブロック都県指定都市社協生活福祉資金担当職員研究協議会 1 回 (11 月 24 日)</li> <li>・全国生活福祉資金貸付事業運営研究協議会 1 回 (10 月 24 日)</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>③生活福祉資金貸付事業研修会  (方法) 自立相談支援機関との連携の現状や課題について共有し、より効果的な事業の推進について検討する。複合的な生活課題等を抱える相談者に対して包括的な支援を行うため、相談援助技術の向上を図る。</p> <p>(回数) 1回  (対象) 市町村社会福祉協議会職員、自立相談支援機関職員 等  (人数) 40名</p> <p>④債権管理(新型コロナ特例貸付)  (方法) 特例貸付に係る債権(24,133件、8,949,530千円)の管理を効率的に行うため、償還指導を除く業務全般を民間業者に委託して実施するとともに、借受人が納付しやすい環境を整備するため、令和5年10月を目途にコンビニ収納を導入する。</p> <p>(委託業務の内容)  ・令和6年1月から償還が開始する借受人に対する「償還のお知らせ」等の文書の作成及び送付  ・償還免除・償還猶予の申請受付、決定通知書の送付  ・電話による各種照会への対応(コールセンター業務) 等</p> <p>(場所) 特例貸付償還事務センター  令和5年4月～7月(予定) 山梨JA会館  令和5年8月～(予定) 福祉プラザ</p> <p>⑤償還指導(新型コロナ特例貸付)  計画的な償還を支援するため、償還が遅れている借受人に対し、電話又は臨戸により生活状況を把握するとともに、償還の促進に向けた指導を行う。また、償還免除又は猶予の要件に該当する者に対しては、申請手続を支援する。更に、生活が困難な状況にある者に対しては、自立相談支援機関に繋ぐなど、生活再建を支援する。</p>	<p>③生活福祉資金貸付事業研修会  期 日 12月18日(月)  会 場 山梨県福祉プラザ1階 介護福祉総合支援センター研修室  参加者 37名  内 容 生活福祉資金貸付制度の説明(午前)、生活福祉資金貸付事業におけるアセスメントの考え方と方法 基礎研修(午後)  講 師 山梨県立大学 人間福祉学部 関屋光泰氏(午後)</p> <p>④債権管理(新型コロナ特例貸付)  ・特例貸付償還事務センター(委託運営)  委託先 アデコ株式会社  内 容 償還免除等の通知および払込取扱票の作成、送付  償還免除、償還猶予の申請受付、決定通知書の送付  各種照会への対応(コールセンター業務)</p> <p>・償還状況(特例貸付(緊急小口資金、総合支援資金初回貸付))  元金289,828千円 貸付利子0円 延滞利子26,442円  【元金85,003千円 貸付利子0円 延滞利子1,831円】</p> <p>・償還免除  元金992,266千円 貸付利子0円 延滞利子6,317円  【元金2,253,772千円 貸付利子0円 延滞利子869円】</p> <p>・コンビニ収納の導入  契約先 SMBCファイナンスサービス株式会社  内 容 償還金収納代行、払込取扱票および残額通知の発送代行  収納開始 11月1日～</p> <p>⑤償還指導(新型コロナ特例貸付)  内 容 架電チームの立ち上げ  架電による催告および生活状況の確認、申請手続等支援  業務開始 4月1日～</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>⑥相談支援(新型コロナ特例貸付) 生活が困難な状況にある借受人に対して重層的な相談支援を行うため、相談支援業務の一部を市町村社会福祉協議会に委託するとともに、自立相談支援機関との連携を強化するため、定期的に情報交換会に参加する。</p> <p>(2) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付事業 (方法) 一定の居住用不動産を担保として、要保護の高齢者世帯に生活費を貸し付け、生活の安定を支援する。 (対象) その不動産に今後も住み続けることを希望する65歳以上の要保護高齢者世帯 (貸付対応可能件数・金額) 6,067千円 10件</p> <p>(3) 臨時特例つなぎ資金貸付事業 (方法) 住居のない離職者で公的給付制度等を申請中の者に、その制度による給付等が始まるまでの生活費として資金を貸し付ける。 適正且つ迅速な貸付に努め、住居確保給付金の窓口である福祉事務所や就労支援を行うハローワーク、相談窓口である市町村社会福祉協議会と連携し、生活再建に向けた支援を行う。 (対象) 離職により住居を喪失し、住居確保給付金等の公的給付・貸付の対象となる世帯 (貸付対応可能件数・金額) 300千円 3件</p>	<p>⑥相談支援(新型コロナ特例貸付) ・市町村社会福祉協議会への一部業務委託 相談業務(必須業務) 27市町村社協 申請手続等支援業務(任意業務) 22市町村社協 ・生活困窮者自立支援事業担当者会議への参加 期日: 6月8日(木)</p> <p>(2) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付事業 ・貸付決定状況 1件 8,820,000円【0件】 ・償還状況 0円【0円】 ・償還免除(1件)【0件】 元金2,460千円 貸付利子7,554円 延滞利子483,238円</p> <p>(3) 臨時特例つなぎ資金貸付事業 ・貸付決定状況 0件【0件】 ・償還状況 元金15,000円【元金12,000円】</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(4) 居室等整備資金貸付事業  (方法) 高齢者や障害者が使用する居室等を整備し、高齢者と家族の関係、障害者の環境改善を図る。  相談窓口である市町村社会福祉協議会の協力を得ながら、県とともに償還滞納者への相談会を実施する。  (対象) 60歳以上の高齢者と同居する者、重度心身障害者本人又は同居する者  (貸付対応可能金額・件数)  4,528千円 2件  (滞納者相談会)  滞納している者を対象に今後の償還に向けた相談会を実施(2回)</p> <p>(5) 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業  対象と方法: ①児童養護施設や児童自立支援施設等を退所した者、または里親等の委託を解除された者で、就職や進学をする者を対象に、家賃支援費(就職者及び進学者)及び生活支援費(進学者)の貸付を行う。  なお、新型コロナウイルス感染症の影響による休業等で収入が減少し、経済的に厳しい状況にある者については、貸付金の増額を行う。  また、医療機関を定期的に受診する進学者に対し、医療費の実費相当額の追加貸付を行う。  ②児童養護施設や児童自立支援施設等に入所中、または里親等に委託中の者及び退所者等で在学中の者を対象に就職に必要な各種資格を取得する為の経費の貸付を行う。  返還免除: ①家賃支援費及び生活支援費は、5年間継続して就業することにより返還免除  ②資格取得支援費は、2年間継続して就業することにより返還免除  貸付対応可能件数・金額: 45,220千円 51件</p>	<p>(4) 居室等整備資金貸付事業  ・貸付決定状況 0件【0件】  ・償還状況 高齢者居室 49件(元金660,000円 利子0円)  【46件(元金644,000円 利子0円)】  障害者居室 18件(元金349,530円 利子5,760円)  【13件(元金299,990円 利子5,760円)】</p> <p>・滞納者懇談会の実施(2月)  甲府市社協管内 …2件  都留市社協管内 …1件  笛吹市社協管内 …1件 計4件【7件】</p> <p>(5) 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業  ・児童自立支援資金選考委員会の開催(1回)  ①6月21日  ・貸付状況 32名55件 26,255,830円【44名68件28,896,610円】  内訳: 生活支援費 23件 13,500,000円  家賃支援費 28件 11,786,800円  資格取得支援費 4件 969,030円</p> <p>・事業の広報及び説明  貸付案内を児童養護施設等に配布するとともに、本会ホームページに事業の案内及び申請書類等を掲載した。  申請時に児童養護施設等職員又は児童相談所職員とともに面談を実施し制度の説明を行い、貸付後に求められる提出書類などを確認した。</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(6) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業  対象と方法：高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親を対象に、入学準備金・就職準備金・住宅支援資金を貸し付け、修学を援助することにより、資格取得を促進し、就業による自立を支援する。  返還免除：入学準備金と就職準備金は、養成機関等を修了し、山梨県内で取得した資格が必要な業務に従事し、5年間住宅支援費は、就職をし1年間引き続き就業を継続することにより、返還免除  貸付対応可能件数・金額： 13,120千円 37件</p>	<p>(6) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業  ・貸付状況 11名 10件 3,609,200円 【14名 14件 5,109,200円】  内訳：入学準備金 5件 2,500,000円  就職準備金 5件 1,000,000円  住宅準備金 1件 109,200円  ・事業の広報及び説明  貸付案内を県市福祉事務所に配布するとともに、本会ホームページに事業の案内及び申請書類等を掲載した。</p>
<p>2 生活困窮者自立支援事業(町村部)  県内町村部の経済的に困窮し、最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある方に対して、個々の状況に応じた支援を行い、自立の促進を図る。令和5年度については、令和5年1月から生活福祉資金特例貸付の償還が開始され、新型コロナウイルス感染症の影響により減収し、生活に苦慮している相談者に対応するため、相談支援員等を増員し、体制を強化する。</p> <p>(1) 相談支援  (方法) 相談者及び関係機関等との協働(支援調整会議の開催等)により相談者の自立に向けた支援計画を作成し、包括的な支援を行う。相談を受ける中で、家計管理が必要と判断した場合は、家計改善支援員と連携した効果的な支援を行う。  (対象) 県内の町村部在住で、現に経済的に困窮し、最低限の生活を維持できなくなるおそれがあり、自立に向けた支援を希望する者</p>	<p>2 生活困窮者自立支援事業(町村部)  令和2年度より、富士川町が「福祉事務所未設置町村による相談事業」を実施。一時相談窓口として、生活困窮者等からの相談を受け付け、自立相談支援機関へつなぐ前に、相談内容により他制度や他機関につなぐ等の対応を行った。  富士川町での相談受付件数は、15件【32件】(この件数は、下記の相談支援の状況に含まれている。)</p> <p>(1) 相談支援  ・相談件数：214件【1,421件 ※うち灯油助成券に係る相談1,197件】  ・性別：男性120名、女性94名  ・年齢：20代16名、30代11名、40代26名、50代65名、60代16名、70代以上33名、不明47名  ・相談経路：本人148件、社協22件、行政27件、その他17件  ・支援状況：支援プラン作成24件【16件】  相談中11件、情報提供のみで終了165件、他機関へ繋ぎ終了21件  ・定期巡回訪問  峡南地域及び昭和町：第2・第4木曜日(日数：24日)  富士・東部地域：第1・第3火曜日(日数：24日)</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(2) 関係機関連絡会議の開催  (対象) 県行政、町村行政、町村社協、職業安定所(ハローワーク)、民生委員・児童委員、支援活動施設・団体等  (回数) 峡南地域(昭和町含む。)、富士・東部地域 各2回  (内容) 相談実績と対応事例の共有、連携を強化するための意見交換等</p>	<p>(2) 関係機関連絡会議  ①第1回連絡会議  ・ 峡南地域及び昭和町(28名)  (期日) 7月11日(火) 富士川町民会館  (参加者) 行政、町社協、民生委員・児童委員、ハローワーク  ・ 富士・東部地域(26名)  (期日) 7月14日(金) 富士吉田合同庁舎  (参加者) 行政、町村社協、民生委員・児童委員、ハローワーク  ・ 内容(各会場共通)  令和4年度実施状況及び令和5年度事業計画(山梨県)  (就労準備支援事業、一時生活支援事業、山梨県子どもの学習・生活支援事業を含む)  令和4年度実施状況及び令和5年度事業計画(町村部)  情報交換  ②第2回連絡会議  ・ 峡南地域及び昭和町(22名)  (期日) 令和6年2月2日(金) 富士川町民会館  (参加者) 行政、町社協、民生委員・児童委員、ハローワーク  ・ 富士・東部地域(24名)  (期日) 令和6年2月7日(水)※積雪のためオンライン開催に変更  (参加者) 行政、町村社協、民生委員・児童委員、ハローワーク  ・ 内容(各会場共通)  令和5年度実施状況及び令和6年度事業計画(山梨県)  (就労準備支援事業、一時生活支援事業を含む)  令和5年度実施状況及び令和6年度事業計画(町村部)  家計改善支援事業について(事業説明・事例紹介)  情報交換</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(3) 地域共生セミナーの開催  (対象) 町村行政、町村社協、民生委員・児童委員、社会福祉施設・介護保険事業者、NPO団体、自治会役員、警察・消防、スクールソーシャルワーカー、保護司、企業等  (回数) 2回  (人数) 各50名  ※その他、民生委員児童委員協議会定例会等の場をご提供いただき、実績を踏まえた制度説明を行う。</p> <p>(4) 家計改善支援事業  (方法) 家計改善支援員(ファイナンシャルプランナー)が、相談者の世帯にあった家計支援プランを作成し、専門的な助言・指導を行う。家計の状況を明らかに(見える化)し、相談者の意欲を引き出すことで生活再建をめざす。  (対象) 県内の町村部に在住で、自立相談支援事業の対象者であり、家計管理の支援により生活の再建と自立が見込める者</p>	<p>(3) 地域共生セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 峡南地域及び昭和町 (19名)  (期 日) 令和6年3月7日(木) 市川三郷町生涯学習センター  (参加者) 行政、町社協、民生委員・児童委員、NPO 法人職員</li> <li>・ 富士・東部地域 (22名)  (期 日) 令和6年3月22日(金) 忍野村生涯学習センター  (参加者) 行政、町村社協、民生委員・児童委員、ハローワーク</li> <li>・ 内容(各会場共通)  テーマ「つなぐ・つむぐ～わたしと地域にできること～  社会貢献でまちをつなぐワークショップ」</li> <li>①生活困窮者自立支援制度の概要</li> <li>②講義・演習  講師：山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科  講師 関屋 光泰さん</li> </ul> <p>(4) 家計改善支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談件数：50件【11件】</li> <li>・ 性 別：男性25名、女性25名</li> <li>・ 年 齢：20代7名、30代6名、40代5名、50代19名、60代1名、70代以上8名、不明4名</li> <li>・ 支援状況：支援プラン作成13件【11件】  相談中6件、情報提供のみで終了35件</li> </ul>



計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>3 日常生活自立支援事業</p> <p>(方法) 認知症高齢者・知的障害者・精神障害者などの利用者と本会と基幹的社協(本会が委託した市町村社協)が契約に基づき、自立した地域生活を送るために、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理、書類等預かり、定期的な訪問(見守り)、相談支援等を行う。</p> <p>実務は基幹的社協を中心とする市町村社協が担い、本会は事業を安心して利用できるための体制整備を行う。</p> <p>※基幹的社協17か所:全13市社協、市川三郷町社協、身延町社協、富士川町社協、富士河口湖町社協。</p> <p>(対象) 認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等、判断能力が不十分な者(体制整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約締結審査会の開催(年3回)</li> <li>・基幹的社協専門員連絡会議の開催(年2回)</li> <li>・専門員・生活支援員研修会の開催(4プログラム 定員各20名)</li> <li>・基幹的社協への相談支援・指導(随時)</li> <li>・成年後見制度利用促進を目的とする関係機関・団体との連携等(随時)</li> </ul>	<p>3 日常生活自立支援事業</p> <p>(1) 令和5年度実績</p> <p>相談件数 35,717件【36,286件】</p> <p>契約件数 96件【103件】</p> <p>解約件数 102件【128件】</p> <p>利用者件数 580件【586件】</p> <p>(2) 契約締結審査会(開催回数2回、審査案件3件)</p> <p>①期日 7月7日(金)、審査案件:2件、出席:委員8名</p> <p>②期日 令和6年2月9日(金)、審査案件1件、出席:委員9名</p> <p>(3) 専門員連絡会議</p> <p>①期日 6月9日(金)、出席:18名</p> <p>②期日 12月6日(水)、出席:16名</p> <p>③期日 令和6年3月21日(木)、出席:14名</p> <p>(4) 専門員・生活支援員研修会</p> <p>①新任生活支援員研修会</p> <p>期日 6月28日(水)</p> <p>会場 福祉プラザ4階大会議室</p> <p>参加者 18名</p> <p>講師 山梨学院短期大学保育科 特任教授 樋川 隆さん</p> <p>②専門員・生活保護ケースワーカー研修会</p> <p>期日 8月30日(水)</p> <p>会場 福祉プラザ4階大会議室</p> <p>参加者 19名</p> <p>講師 山梨学院短期大学保育科 特任教授 樋川 隆さん</p> <p>③現任生活支援員研修会</p> <p>期日 10月18日(水)</p> <p>会場 福祉プラザ4階第1会議室</p> <p>参加者 8名</p> <p>講師 山梨学院短期大学保育科 特任教授 樋川 隆さん</p>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>7</p> <p>臨・関東甲信越静岡ブロック都県社協成年後見担当職員連絡会議（令和6年度本県開催に向けて令和5年度当番（神奈川県社協）からの引継ぎ）</p> <p>4 上記1～3の事業間の連絡・連携強化 市町村社会福祉協議会、市町村、福祉専門機関等との連絡・連携を強化し、包括的な支援体制に基づき事業に取り組む。</p>	<p>④専門員・生活支援員合同研修会 期 日 12月20日（水） 会 場 福祉プラザ4階大会議室 参加者 9名 講 師 山梨学院短期大学保育科 特任教授 樋川 隆さん</p> <p>(5) 基幹的社協への相談・支援 随時対応のほか、福祉サービス運営適正化委員会運営監視小委員会現地調査への同行による利用者の全預金通帳の内容確認、預かり書類の保管方法、金庫開閉手続きの確認等を行った。</p> <p>(6) 成年後見制度利用促進を目的とする関係機関との連携等（出席） ①中核機関体制整備等に関するアドバイザー相談・派遣事業説明会及び情報交換会 期 日 6月14日（水） ②権利擁護支援対応力強化研修 期 日 10月25日（水） ③成年後見制度利用促進交流会（オンライン） 期 日 4月～令和6年2月全9回 ④家事関係機関連絡協議会 期 日 令和6年1月（書面開催）</p> <p>臨（7）関東甲信越静岡ブロック都県社協成年後見担当職員連絡会議 本県開催に向けて令和5年度当番（神奈川県社協）からの引継ぎ開催中止のため、次年度へ繰越しとなった。</p> <p>4 上記1～3の事業間の連絡・連携強化 各事業を実施する中で関係機関と連絡・情報共有を行った。</p>

## 推進施策2 多様な組織が連携・協働する支援体制づくり

### 実施事業(3) 個人や地域が抱える複雑で多様な福祉課題の解決のための市町村における行政、福祉専門機関、NPO、ボランティア、企業、住民組織等によるネットワークづくりへの支援

(福祉振興課、コミュニティ再生推進室)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業 (地域支え合いプロジェクト) (※再掲)</p> <p>孤独・孤立対策や災害時の福祉支援などの地域の福祉課題の解決に向け、地域支え合い活動を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域におけるつながり強化策の検討・実施</li> <li>・対象 市町村社協、市町村、福祉施設・団体、NPO、地域住民など</li> <li>・内容</li> </ul> <p>(1) モデル事業の実施(5か所:令和4年度から継続3か所、新規2か所)及び検証、報告会の開催</p> <p>(2) 孤独・孤立などの地域の福祉課題の解決に向けた支援体制を整備するため、さまざまな分野の連携強化、モデル事業を含めた取り組みの情報共有、啓発活動などを行う「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」を構築する。目的に賛同する団体などを募り、プラットフォーム事務局として団体などのマッチングを行う。</p> <p>2 山梨ともしび基金助成事業の実施</p> <p>県民からの善意の寄付金を原資とし、その年の基金運用益及び寄付金収入を県内で活動しているボランティア団体の行う社会福祉にかかわる事業費の一部に対し助成する。</p> <p>(対象) 発足2年未満の新しい団体と、活動実績が2年以上のボランティア団体等が行う社会福祉に関わる事業</p>	<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(再掲) (地域支え合いプロジェクト)</p> <p>※推進施策(1)－実施事業(1)－3を参照</p> <p>2 山梨ともしび基金助成事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金交付 9月【9月】 12団体 総額1,150,000円【9団体 総額670,000円】</li> <li>・令和5年度助成事業募集 募集期間 3月6日(月)～4月28日(金) 【令和4年4月15日～5月20日】</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(助成額) 1事業100,000円以内(1団体) (助成予定) 30件程度</p> <p>3 山梨善意銀行の運営 企業・団体等からの様々な善意(物品、招待等の寄付)を福祉施設につなげるための連絡調整を行う。 (主な受入品) 物品寄付・・・図書、衣類、文房具、タオル、食器、使用済み切手など 招待寄付・・・イベント、コンサートなどの招待券</p>	<p>周知方法 山梨県社会福祉協議会ホームページ掲載、市町村社会福祉協議会へ周知依頼、ボランティア・NPOボードへ掲示(インターネット版同時掲載)、ボランティア・福祉活動団体65団体へ募集要項送付</p> <p>・寄付金の受付 令和5年度寄付金受付実績 4件 252,081円【4件 251,027円】</p> <p>3 山梨善意銀行の運営5件【4件】</p> <p>①勝沼授産園へ使用済み切手寄付 53,130g【48,525g】</p> <p>②フコク生命甲府支社外野倶楽部 ・未使用タオル等寄贈事業 タオル120枚、文房具 都留市社会福祉協議会へ寄付</p> <p>③山梨中央銀行職員 ・未使用タオル 92枚 山梨県障害者地域生活支援事業所協議会へ寄付 ・使用済み切手 4.1kg※</p> <p>④一般社団法人会連合会・甲府法人会 ・タオル類 420枚 ・石鹸類 48個 ・箱ティッシュ 37個 ・ポケットティッシュ 170個 等 NPO法人やまなしライフサポートへ寄付 ・使用済み切手9.9kg※</p> <p>⑤株式会社アップロード ・未使用タオル 66枚 ※使用済み切手は勝沼授産園へ寄付</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>4 福祉活動支援事業            企業や団体の物品等を寄付する社会貢献活動を促進するため、支援を必要とする福祉施設等とのコーディネート役を行う。</p> <p>(1) ふくしの保険(ボランティア保険等)の普及</p> <p>(2) 各種福祉情報の提供(民間助成制度等)</p> <p>(3) 企業・団体の社会貢献活動への協力(福祉車両、車いす等の寄贈)</p>	<p>4 福祉活動支援事業</p> <p>(1) ふくしの保険(ボランティア保険等)の普及            ボランティア活動保険加入数(県社協取扱い分)            ・1,541名 【1,731名】            ボランティア行事用保険加入件数 66件 【64件】            福祉サービス総合補償 9件 【12件】            送迎サービス補償 3件 【4件】</p> <p>(2) 各種福祉情報の提供(民間助成制度等)            ボランティアボード等により情報提供を行った。</p> <p>(3) 企業・団体の社会貢献活動への協力(福祉車両、車いす等の寄贈)            福祉車両、車いす等の贈呈・調整7件 【4件】</p> <p>①株式会社ツルハホールディングス、クラシエホールディングス株式会社 車いす寄贈事業 車いす3台            車いす2台 社会福祉法人あそびじゅく            車いす1台 社会福祉法人山梨檜の会</p> <p>②生命保険協会 山梨県協会            車いす用体重計1台            社会福祉法人山梨県社会福祉事業団 はまなし寮            非常用備蓄食料            社会福祉法人さくら会 特別養護老人ホーム 風林荘へ寄贈</p> <p>③山梨トヨタ株式会社 車いす10台            特別養護老人ホーム、障害者福祉施設等10施設へ寄贈</p> <p>④24時間テレビチャリティー委員会            リフト付きバス1台、スロープ付き軽自動車1台</p> <p>⑤アブラック山梨アソシエイツ会            社会福祉法人大月市社会福祉協議会            一般社団法人 育みの会 に各10万円を寄付</p> <p>⑥株式会社セブン-イレブン・ジャパン            生活支援物品の受け入れ及び配布5回(累計17回)</p> <p>⑦株式会社ダイナム            食料品、生活雑貨の寄付</p>

## 推進施策2 多様な組織が連携・協働する支援体制づくり

### 実施事業(4) 各種別協議会(高齢・障害・児童分野)への支援を通じた、様々な地域福祉活動の活性化

(福祉振興課、介護福祉総合支援センター)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>1 各種別協議会の事務局運営支援と協働事業実施            (1) 山梨県社会福祉法人経営者協議会</p> <p>①役員会・監事会・定期総会・各種部会・研修会等の開催</p>	<p>1 各種別協議会の事務局運営支援と協働事業実施            (1) 山梨県社会福祉法人経営者協議会            会員法人 157 法人【158 法人】</p> <p>① 役員会・監事会・定期総会・各種部会・研修会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正副会長会議 6回【5回】              期日 4月13日(木)、6月15日(木)、7月21日(金)、              9月7日(木)、令和6年2月8日(木)、2月29日(木)</li> <li>・監事会 1回【1回】              期日 4月11日(火)</li> <li>・理事会 3回【4回】              期日 4月28日(金)、9月13日(水)、令和6年3月14日(木)</li> <li>・定期総会 1回              期日 5月31日(水)</li> <li>・部会 3回【2回】              期日 4月28日(金)、9月13日(水)、令和6年3月14日(木)</li> <li>・青年会幹事会 5回【3回】              期日 5月25日(木)、7月20日(木)、9月14日(木)              11月30日(木)、令和6年1月26日(金)              幹事14名(高齢5、児童7、障害2)              【幹事14名(高齢6、児童6、障害2)】</li> <li>・第1回全国経営協・県経営協セミナー              期日 8月25日(金)              内容 「どこもかしこも人がいなくなる!どうする社福」等</li> </ul>



計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>④各種福祉団体への協力・連絡調整・連携・協働</p> <p>⑤県社協と協働したアンケート調査・支援方法の検討</p> <p>(2) 山梨県民生委員児童委員協議会</p> <p>①役員会・監事会・定期総会・研修会等の開催</p> <p>②全国大会・研修会・会議への役職員の出席</p>	<p>④各種福祉団体への協力・連絡調整・連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県社会福祉審議会(高齢者福祉専門部会・障害者福祉専門部会)</li> <li>・県障害者差別解消ネットワーク会議</li> <li>・県地域包括ケア推進会議</li> <li>・県災害福祉支援ネットワーク会議</li> <li>・県福祉施設経営指導連絡協議会</li> <li>・県社協理事</li> <li>・県福祉人材センター運営委員会委員</li> <li>・県福祉サービス運営適正委員会委員選考委員</li> </ul> <p>⑤全国経営協モニター会員登録の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国経営協の重点施策編成時の意見集約</li> </ul> <p>(2) 山梨県民生委員児童委員協議会</p> <p>活動委員数 2,533名(任期:令和6年11月) 【2,531名】</p> <p>①役員会・監事会・定期総会・研修会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正副会長会議 4回【5回】</li> <li>期日 5月8日(月)、7月20日(木)、10月19日(木)、令和6年2月27日(火)</li> <li>・監事会 1回【1回】</li> <li>期日 4月17日(月)</li> <li>・理事会 2回【3回】</li> <li>期日 5月22日(月)、令和6年3月8日(金)</li> <li>・定期総会 1回【1回】</li> <li>期日 6月12日(月)</li> </ul> <p>②全国大会・研修会・会議への役職員の出席</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第92回全国民生委員児童委員大会 広島大会</li> <li>期日 11月21日(火)・22日(水)</li> <li>会場 広島グリーンアリーナ 他</li> <li>参加者 24名</li> <li>・第83回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会</li> </ul>



計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>③関係機関・団体との連絡調整・連携・協働</p> <p>④民生委員活動の理解促進(民生委員児童委員活動強化週間等)</p> <p>⑤児童委員活動の強化・推進</p> <p>⑥民生委員児童委員研修会(県委託)の開催</p>	<p>期日 9月7日(木)・8日(金)</p> <p>会場 ANAクラウンプラザホテル</p> <p>参加者 10名</p> <p>③関係機関・団体との連絡調整・連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いのちのセーフティーネット連絡協議会</li> <li>・ヤングケアラー支援ネットワーク会議</li> <li>・スクールソーシャルワーカー活用事業運営会議 他</li> </ul> <p>④-1 民生委員活動の理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員児童委員の日活動強化週間</li> </ul> <p>期間 5月12日(金)～18日(木)</p> <p>内容 PR用懸垂幕を県庁及び7市役所・7町村役場の外壁へ掲揚</p> <p>④-2 助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定民生委員児童委員協議会の指定(2ヵ所)</li> </ul> <p>期間 令和5年度～令和6年度</p> <p>指定先 甲府市甲運地区民児協・中央市田富地区民児協</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活福祉資金部会」の設置に伴う助成金(8市1村民児協へ交付)</li> <li>・児童福祉施設等創造活動備品整備助成金(12団体へ交付)</li> </ul> <p>⑤児童委員活動の強化・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こどもまんなか 児童福祉週間」</li> </ul> <p>期間 5月5日(金)～11日(木)</p> <p>内容 ポスター・ちらし・冊子等を活用した周知活動</p> <p>⑥民生委員児童委員研修会(県委託)の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県主任児童委員研修会</li> </ul> <p>期日 10月2日(月)</p> <p>会場 アピオ甲府</p> <p>人数 126名</p> <p>内容 行政説明「山梨県におけるヤングケアラーの対策について」 山梨県子育て支援局 子ども福祉課</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
	<p>講 義「ヤングケアラーについての理解を深める」 講師 立正大学 教授 森田 久美子 さん</p> <p>・山梨県中堅民生委員児童委員リーダー研修会 期日 10月24日(火) 会場 アピオ甲府 人数 118名 内容 行政説明「地域共生社会の実現に向けた取り組みについて」 山梨県福祉保健部 福祉保健総務課</p> <p>講 義「地域福祉の推進と中堅民生委員児童委員に期待される役割～現代的課題に対応した活動の活性化に向けて～」 講師 国際医療福祉大学大学院 教授 小林 雅彦 さん</p> <p>・山梨県単位民児協会長・副会長研修会 期日 11月6日(月) 会場 アピオ甲府 人数 192名 内容 行政説明「共助とリーダー」 「避難行動要支援者の個別避難計画について」 山梨県防災局 防災危機管理課</p> <p>講 義「災害にも強い地域を目指して ～「いま」と「もしも」を「いつも」に「平常時」と「災害時」を「いつも」に～」 講師 一般社団法人FEEL Do 代表理事 栗原 英文 さん</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(3) 山梨県老人福祉施設協議会</p> <p>①役員会・監事会・定期総会・委員会・各種部会・研修会・研究総会等の開催</p>	<p>(3) 山梨県老人福祉施設協議会            会員数 144 施設【144 施設】</p> <p>①役員会・監事会・定期総会・委員会・各種部会・研修会・研究総会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正副会長会議 1回【3回】              期日 令和6年2月1日(木)</li> <li>・監事会 1回【1回】              期日 4月18日(火)</li> <li>・理事会 3回【3回】              期日 4月21日(金)、8月23日(水)、令和6年3月27日(水)</li> <li>・定期総会 1回【文書審議】              期日 5月29日(月)</li> <li>・次世代委員会幹事会 3回              期日 4月13日(木)、令和6年1月18日(木)、3月18日(月)</li> <li>・次世代委員会 1回              期日 7月4日(火)</li> <li>・養護老人ホーム管理者連絡会 2回              期日 8月3日(木)、令和6年2月19日(月)</li> <li>・地域ブロック会 1回              期日 4月26日(水)</li> <li>・研修会 2回【1回】              「実効性のあるBCPセミナー」              期日 7月4日(火)              会場 小瀬スポーツ公園 陸上競技場会議室              参加者 79名              「第2回BCP作成セミナー」              期日 9月11日(月)              会場 小瀬スポーツ公園 武道館会議室              参加者 60名</li> <li>・第14回山梨県老施協研究総会              期日 令和6年2月25日(日)</li> </ul>



計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>④各種調査の実施、会員への各種情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護老人ホーム運営に対する要望書 期日 10月16日(月)～11月20日(月) 県・市町村へ提出</li> <li>③-2 広域感染症災害救援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生用品・防護用品の配布及び寄贈 期日 12月 寄贈1件 6月、12月 配布2件</li> </ul> </li> <li>③-3 意見交換会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県福祉保健部健康長寿推進課と山梨県老人福祉施設協議会との意見交換会 期日 8月23日(水)</li> <li>・山梨県福祉保健部健康長寿推進課・市町村・養護老人ホーム三者意見交換会 期日 10月16日(月)</li> </ul> </li> <li>③-4 令和6年能登半島地震への職員の応援派遣 <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護施設職員等派遣 期日 令和6年3月7日(木)～15日(金) 1名 派遣先 社会福祉法人佛子園(輪島市)</li> <li>・山梨DWA T 期日 令和6年2月15日(木)～20日(火) 3名 令和6年2月23日(金)～28日(水) 1名 令和6年2月27日(火)～3月3日(日) 1名 派遣先 いしかわ総合スポーツセンター内の1.5次避難所(金沢市)</li> </ul> </li> <li>④各種福祉団体への協力・連絡調整・連携・協働 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県社会福祉審議会</li> <li>・県高齢者権利擁護等推進部会</li> <li>・県介護・医療連携推進協議会 ほか</li> </ul> </li> </ul>

計画内容	実施報告 (状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(4) 山梨県保育協議会</p> <p>①役員会・監事会・定期総会・各種部会・委員会・研修会・大会等の開催</p>	<p>(4) 山梨県保育協議会            会員数 189 カ所            (公立 101 カ所、民間 82 カ所、公設民営 6 カ所)</p> <p>①役員会・監事会・定期総会・各種部会・委員会・研修会・大会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新旧理事会 1回【1回】              期日 5月2日(火)</li> <li>・監事会 1回【1回】              期日 5月1日(月)</li> <li>・定期総会 1回【1回】              期日 5月20日(土)</li> <li>・保育部会 4回【3回】</li> <li>・保育検討委員会 5回【5回】              内容 保育施策への意見・要望のとりまとめについて</li> <li>・研修委員会 3回【3回】              内容 保育所(園)長・認定こども園長研修会、主任保育士・主幹保育教諭研修会について</li> <li>・広報・調査委員会 3回【3回】              内容 広報誌「県保協だより29号」の発行</li> <li>・保育内容研究委員会 12回【12回】              内容 公立保育所・認定こども園等の使命と地域での役割について</li> <li>・給食研究委員会 8回【8回】              内容 季節の行事食 レシピ集の作成について</li> <li>・保育所(園)長・認定こども園長研修会              期日 令和5年11月21日(火)              会場 アピオ甲府【オンライン開催】              参加者 127名【129名】              内容「保育施設のBCPについて」              講師 株式会社アイギス 脇 貴志さん</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
	<p>「山梨県立大学人間福祉学研究所の新設について」  説明者 山梨県立大学 高野牧子 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任保育士・主幹保育教諭研修会  期日 令和5年12月7日(木)  会場 アピオタワー館【オンライン開催】  参加者 144名【131名】  内容「保育の魅力、人材育成について」  講師 湘南ケアアンドコミュニケーション研究所 増田まゆみ さん</li> <li>・保育士・栄養士・調理員等研修会  (第7回山梨県児童福祉施設栄養士会合同研修会)  期日 令和6年2月26日(月)  オンライン開催【オンライン開催】  参加者 204名【134名】  内容「離乳食について 保育士と栄養士が共通して理解しておきたいこと」講師 大妻女子大学短期大学部 小野友紀 さん</li> <li>・第1回保育士研修会  期日 令和5年12月2日(土)  会場 桃源文化会館【オンライン開催】  参加者 141名【216名】  内容「医療的ケア児について」  講師 山梨県立大学 横森愛子 准教授</li> <li>・第2回保育士研修会  期日 令和6年1月20日(土)  会場 かいてらす【オンライン開催】  参加者 153名【135名】  内容「給食指導について」  講師 きゅうけん代表 山口健太 さん</li> <li>・第58回山梨県保育大会</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>②全国・関東ブロック大会や研修会・会議への役職員の出席</p>	<p>期日 令和6年2月17日(土)  会場 県立文学館講堂  参加者 200名【85名】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育大会実行委員会</li> </ul> <p>期日 12月26日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知事表彰候補者推薦委員会並びに県保協会長表彰・感謝状贈呈者選考委員会</li> </ul> <p>期日 12月26日(火)</p> <p>②全国・関東ブロック大会や研修会・会議への役職員の出席</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国保育協議会協議員総会</li> </ul> <p>期日 5月25日(金)、令和5年2月16日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第66回全国保育研究大会(大分県大会)</li> </ul> <p>期日 11月16日(木)～17日(金) 別府市・大分市・由布市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国保育組織正副会長等会議</li> </ul> <p>期日 11月15日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育組織人材養成会議</li> </ul> <p>期日 7月28日(金)、12月11日(月)、令和6年2月26日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国保育士会</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)全国保育士会委員総会</li> </ul> <p>期日 5月25日(木)、令和5年2月15日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(2)食育推進研修会</li> </ul> <p>期日 8月7日(月)～8日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(3)全国保育士会委員連絡会議</li> </ul> <p>期日 10月18日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(4)第56回全国保育士会研究大会(静岡県大会)</li> </ul> <p>期日 10月19日(木)～20日(金) 浜松市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(5)全国保育士会「第50回全国保育士研修会」</li> </ul> <p>期日 1月25日(木)・26日(金)</p>



計画内容	実施報告 (状況) ※【 】内は前年度実績
<p>③国・県・市町村等への意見陳情・要望の実施</p> <p>④関係機関・団体との連絡調整・連携・協働</p> <p>⑤会員への各種情報提供</p>	<p>会場 新横浜プリンスホテル  (6)都道府県・指定都市保育士会正副会長会セミナー  期日 2月14日(火)～15日(水)</p> <p>会場 全社協会議室  ・関東ブロック会長会  期日 4月27日(木)、7月3日(月)、9月15日(金)  2月27日(火)</p> <p>・第63回関東ブロック保育研究大会(横浜大会)  期日 7月26日(水)～27日(木)</p> <p>・関東ブロック保育事業連絡協議会  期日 9月15日(金)</p> <p>・関東ブロック保育士会会長会議  期日 7月26日(水)、令和6年2月5日(月)</p> <p>・関東ブロック保育士会リーダーセミナー  期日 令和6年2月5日(月)</p> <p>③国・県・市町村等への意見陳情・要望の実施  ・山梨県に対する保育2団体の意見要望事項の提出  県に提出 令和6年3月28日(木)  市長会・町村会に提出 令和6年3月28日(木)</p> <p>④関係機関・団体との連絡調整・連携・協働  ・山梨県子ども・子育て会議/幼保連携型認定こども園審査部会  ・山梨県社会福祉審議会委員  ・山梨県保育等人材確保・定着等協議会  ・幼保自然体験活動推進検討会  ・山梨県交通対策推進協議会交通安全部会  ・山梨県口腔の健康づくり推進協議会 ほか</p> <p>⑤会員への各種情報提供  機関誌の発行  ・県保協だより 29号 (令和6年2月発行)  ・やまじ 60号 (令和6年2月発行)</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(5) 山梨県保育所保護者連合会</p> <p>①役員会・監事会・定期総会・研修会・大会等の開催</p> <p>②国・県・市町村等への意見陳情・要望の実施</p> <p>③関係機関・団体との連絡調整・連携・協働</p>	<p>(5) 山梨県保育所保護者連合会            会員数：57か所【75か所】</p> <p>①役員会・監事会・定期総会・研修会・大会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会 2回【2回】              期日 6月18日(日)、令和6年3月22日(金)</li> <li>・監事会              期日 5月15日(月)、5月17日(水)</li> <li>・定期総会 1回              期日 7月23日(日)              会場 市川三郷町生涯学習センター</li> <li>・第57回山梨県保育大会              期日 令和6年2月17日(土)              会場 山梨県立文学館 講堂              参加者 100名【85名】</li> <li>・保育大会実行委員会              期日 12月26日(火)</li> <li>・知事表彰候補者推薦委員会並びに県保協会長表彰・感謝状贈呈者              選考委員会              期日 12月26日(火)</li> <li>・展覧会(おやつ・絵画・写真展示)              ほいくえんの手作りおやつ展 応募作品数 8点              ほいくのびのび絵画展 中止              いきいき写真コンテスト 応募作品数 104点</li> </ul> <p>②県・市町村等への保育施策に対する要望活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育制度や施策に関する意見要望活動及び事業推進への協力呼びかけ</li> <li>・県・市長会・町村会への意見・要望書の提出              期日 3月              ※山梨県保育協議会、山梨県保育所保護者連合会の2団体で提出</li> </ul> <p>③関係機関・団体との連絡調整・連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育推進事業・幼児教育番組「子育て日記」への参画</li> <li>・企画運営委員会3回</li> </ul>

計画内容	実施報告 (状況) ※【 】内は前年度実績
<p>④会員への各種情報提供</p> <p>(6) 児童養護施設部会</p> <p>①部会・監事会の開催</p> <p>②職員研修会の開催</p> <p>③児童文化奨励絵画展 (全養協主催) への協力</p> <p>④会員への各種情報提供</p>	<p>④-1ブロック別研修会 ブロック別活動への助成を実施。</p> <p>④-2機関紙の発行 ・保護連だより 54号 5,100部 (3月発行)</p> <p>⑤園児交通安全キャンペーンの展開 ・園児を交通事故から守るための交通安全運動の啓蒙 ・園児交通災害等弔慰見舞金の支給</p> <p>(6) 児童養護施設部会 会員数：7施設【7施設】</p> <p>①部会・監事会の開催 ・部会 2回【2回】 期日 5月17日(水)、令和6年1月29日(月) ・監事会 1回【1回】 期日 5月11日(木)</p> <p>②職員研修会の開催 ・子ども家庭ソーシャルワーク専門職養成研修 期実 10月27日(金)～令和6年3月16日(土) 全10回 ・児童養護施設等の高機能化・多機能化に向けた人材育成研修 期日 令和6年2月21日(水)～22日(木)、 令和6年3月8日(金)～11日(月)</p> <p>③全国児童養護施設協議会児童文化奨励絵画展予備審査会 期日 8月22日(火) 応募作品数 53点</p> <p>④会員への各種情報提供 ・第58回関東ブロック児童養護施設研究協議会 (東京大会) 期日 7月7日(金) 会場 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター ・第37回関東ブロック児童養護施設職員研修会 (神奈川大会) 期日 10月11日(水)～12日(木) 会場 川崎市コンベンションホール</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第76回全国児童養護施設長研究協議会(兵庫大会) 期日 11月6日(月)～8日(水) 会場 神戸ポートピアホール</li> <li>・第43回児童文化奨励絵画展 期日 11月6日(月)～8日(水) 会場 神戸ポートピアホール</li> <li>・令和5年度 社会的養護を担う児童福祉施設長研修会 期日 12月11日(月)～22日(金) 会場 オンライン</li> <li>・令和5年度全国児童養護施設中堅職員研修会 期日 令和6年2月19日(月)～20日(火) 会場 全社協・灘尾ホール</li> <li>・令和5年度ファミリーソーシャルワーク研修会 期日 9月6日(水)～7日(木)、10月22日(日)～23日(月) 会場 ロフォス湘南・中央福祉学院</li> <li>・子ども・子育て全国フォーラム2023 期日 令和6年3月13日(水) 会場 全社協・灘尾ホール他</li> </ul> <p>『「10月4日は里親デー」啓発キャンペーン』及び「里親制度の啓発活動」への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度「10月4日は里親デー」街頭キャンペーン 期日 10月4日(水) 会場 甲府駅北口ペDESTリアンデッキ</li> </ul>



計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度全国社会就労センター長研修会 期日 令和6年2月21日(水)～22日(木) 会場 有明セントラルタワー</li> <li>・全国ナイスハートバザール2023in あいち 期日 10月17日(火)～11月10日(金) 会場 イオンモールナゴヤドーム前 他4会場</li> <li>・全国ナイスハートバザール2023in えひめ 期日 令和6年2月23日(金)～27日(火) 会場 大街道商店街</li> <li>・ナイスハートバザール・販売促進研修会 期日 6月15日(木) オンライン開催</li> <li>・第27期リーダー養成ゼミナール 期日 8月23日(水)～令和6年1月12日(金) 6日間 会場 全社協会議室</li> <li>・リーダー養成ゼミナール修了生フォローアップ研修会 期日 令和6年3月11日(月) 会場 全社協会議室</li> <li>・関東社会就労センター協議会研究大会(静岡大会) 期日 11月13日(月) 会場 三島市民文化会館</li> <li>・関東社会就労センター協議会研修会 第1回 期日 8月8日(火) 会場 しんわルネッサンス、サンメッセしんわ 第2回 期日 12月13日(水) 会場 大宮ソニックシティ 第3回 期日 令和6年1月18日(木) オンライン開催</li> </ul>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>(8) 山梨県地域包括・在宅介護支援センター協議会</p> <p>①理事会・監事会・定期総会・職員研修会の開催</p> <p>②全国研修会等への助成事業の実施</p>	<p>(8) 山梨県地域包括・在宅介護支援センター協議会            会員センター数 (令和6年3月末現在)            地域包括支援センター 17            在宅介護支援センター等 5 計22センター【22センター】</p> <p>①理事会 6月21日(水)、令和6年1月22日(月)【1回】            監事会 5月22日(月)【1回】            定期総会 6月21日(水)【1回】            職員研修</p> <p>ア 期日 6月21日(水)            説明 「やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業            (地域支え合いプロジェクト)」について            講演 「地域包括ケアシステム・介護保険制度の動向」            講師 関東信越厚生局 健康福祉部 地域包括ケア推進課            地域包括ケア推進官 柏山卓智 さん            参加者 28名</p> <p>イ 期日 令和6年1月22日(月)            研修報告 「令和5年度 全国地域包括・在宅介護支援センター            研究大会」            報告者 山梨県地域包括・在宅介護支援センター協議会            会長 堀内 欣一郎 さん            講演 「地域共生社会と重層的支援」～全世代対応型地域            まるごとサポートに向けて～            講師 社会福祉法人 ひだまり 理事長 永田かおり さん            参加者 25名</p> <p>②全国研修会等への助成事業の実施            以下の全国研修会に参加した会員に参加費を助成した。            ア「地域包括・在宅介護支援センター リーダー職員研修会」            3名助成            イ「全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会」            5名助成            ウ「全国地域包括・在宅介護支援センター研修会」            4名助成</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>③全国会議、関東ブロック、関係機関・団体の各種会議等への参加</p> <p>④会員への各種情報提供</p> <p>臨 (9) 全国救護施設研究協議大会開催への協力</p> <p>臨 (10) 日本福祉施設士会関東ブロックセミナー開催への協力</p>	<p>③全国会議、関東ブロック、関係機関・団体の各種会議等への参加 以下の会議に会長が出席した。 ア 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 協議員総会 イ 関東ブロック会長会議 ウ 山梨県高齢者権利擁護等推進部会</p> <p>④会員への各種情報提供 「介護保険最新情報」「見守り新鮮情報」など全国地域包括・在宅介護支援センター協議会からの情報提供メールを会員センターに転送し、情報提供に努めた。</p> <p>臨 (9) 第45回全国救護施設研究協議大会(本県開催) 期 日 10月17日(火)～18日(水) 会 場 アピオ甲府 開会式 高野会長出席 情報交換会 山田副会長出席 係員として、本会職員5名が運営協力</p> <p>臨 (10) 第35回日本福祉施設士会関東甲信越静岡ブロックセミナー(本県開催) 期 日 令和6年2月8日(木)～9日(金) 会 場 シャトレーホテル談話館 開会式 高野会長出席 係員として、本会職員1名が運営協力</p>



## 推進施策2 多様な組織が連携・協働する支援体制づくり

### 実施事業（5）利用者の立場に立った福祉サービスの質の向上

（福祉振興課、運営適正化委員会）

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>1 福祉サービス第三者評価事業の実施 事業者が運営における問題点を把握し、サービスの質の向上につなぎ、また評価結果を公表することにより、利用者の適切なサービス選択に資するための情報の提供を行う。</p> <p>(1) 第三者評価事業の普及活動</p> <p>(2) 認証評価機関の新規参入促進</p> <p>(3) 運営委員会、認証・公表専門委員会、評価・研究専門委員会の開催 (年1回)</p> <p>(4) 県内認証評価機関：2機関</p>	<p>1 福祉サービス第三者評価事業の実施</p> <p>(1) 第三者評価事業の普及活動 インターネットホームページ及び書面での周知</p> <p>(2) 認証評価機関の新規参入促進 新規参入促進継続</p> <p>(3) 運営委員会、認証・公表専門委員会、評価・研究専門委員会の開催 運営委員会（書面開催） 1回 認証・公表専門委員会（書面開催） 1回</p> <p>(4) 県内認証評価機関 ・1機関 機関名 (特非) ライフサポート樂樂</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>2 福祉サービス苦情解決事業の実施 福祉サービスに関する利用者からの苦情の適切な解決を図り、また日常生活自立支援事業の適正な事業運営を確保するために運営監視を行い、利用者の権利を擁護する。</p> <p>(1) 福祉サービスに係る苦情相談(苦情解決小委員会) (方法) 福祉サービスに係る苦情(要望)を受け付け、必要に応じて事情調査等を行い、適切に苦情解決を行う。 (対象) 福祉サービス利用者や家族、代理人、後見人、職員等 (相談日・体制) 月曜日～金曜日 8:30～17:15 電話、来所、FAX、文書などによる受け付け ※年末年始(12月29日～1月3日)、祝日は除く</p> <p>(2) 委員会の開催 運営適正化委員会 年2回 苦情解決小委員会 年6回 運営監視小委員会 年5回</p> <p>(3) 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)の運営監視(運営監視小委員会) (方法) 事業が適正に実施されているか、基幹的社会福祉協議会への現地調査を行い、実施主体である県社会福祉協議会に対し、助言・勧告を行う。 (対象) 県社会福祉協議会、基幹的社会福祉協議会(17か所)</p> <p>(4) 事業者における苦情解決体制整備への支援 (方法) 社会福祉事業の経営者は苦情の適切な解決に努めなければならぬため、巡回指導や研修等により、事業者における苦情解決体制整備の支援を行う。 (対象) ①巡回指導: 社会福祉施設等4カ所程度 ②研修会: 県内全ての社会福祉施設等 (実施時期) 巡回指導: 10、11月 研修会: 8月、10月、11月</p>	<p>2 福祉サービス苦情解決事業の実施</p> <p>(1) 福祉サービスに係る苦情相談(苦情解決小委員会) 苦情相談受付状況 ①苦情受付件数 0件 【0件】 ②相談受付件数 13件 【9件】 (内訳) 高齢者4件、障害者5件、児童3件、その1件</p> <p>(2) 委員会の開催 運営適正化委員会 年2回 【2回】 苦情解決小委員会 年6回 【5回】 運営監視小委員会 年3回 【3回】</p> <p>(3) 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)の運営監視(運営監視小委員会) 基幹的社会福祉協議会への現地調査の実施 (実施期間) 9月～10月 (対象) 基幹的社協 9カ所 【8か所】 基幹的社協及び県社会福祉協議会へ調査結果を通知 (11月24日)</p> <p>(4) 事業者における苦情解決体制整備への支援 ①苦情解決体制の巡回指導の実施 小委員会で協議、来年度研修会で対応することとし、中止 (実施数) 0カ所 【0カ所】  ②苦情解決事業研修会の実施状況</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(5) 「山梨県福祉サービス運営適正化委員会」委員選考委員会の開催  (方法) 運営適正化委員会の委員が令和6年3月31日をもって任期満了となるため、選考委員会を開催し、委員の選任を行う。(2年に1回)</p> <p>3 地域密着型サービス外部評価事業の実施  評価結果をもとに具体的なサービス改善や情報公開等に活かし、サービス水準の確保と向上を図る。  対象：県内認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)</p> <p>(1) 外部評価の実施及び公表 (WAMNET)</p> <p>(2) 地域密着型サービス外部評価調査員の養成・フォローアップ研修会の開催</p> <p>(3) 調査予定事業所数： 40 事業所</p>	<p>「クレーム対応の基本」  第一回研修会  8月7日(月) 参加人数 93名【22名】  第二回研修会  9月8日(金) 参加人数 79名【22名】</p> <p>(5) 「山梨県福祉サービス運営適正化委員会」委員選考委員会の開催  選考委員会は、文書審議により、委員の選任を行った。  (任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日)</p> <p>3 地域密着型サービス外部評価事業の実施</p> <p>(1) 外部評価の実施及び公表 (WAMNET)  評価事業所数 32 事業所【47 事業所】  実施期間 10月～令和6年3月  ・評価実施後、調査票を確認し、福祉医療機構ホームページ(WAMNET)に公表を行った。</p> <p>(2) 地域密着型サービス外部評価調査員の養成・フォローアップ研修会の開催  ・評価調査員の養成  令和5年度は実施しなかった。  ・フォローアップ研修  令和5年度は実施しなかった。</p> <p>(3) 調査実施事業所数：31 事業所【47 事業所】</p>

### 推進施策3 地域福祉を支える人づくり

#### 実施事業(1) 福祉・介護サービスに携わる人材の確保とすそ野の拡大

(介護福祉総合支援センター、保育士・保育所支援センター)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>新1 介護事業者への支援</p> <p>(1) 介護現場革新会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護人材の確保・処遇改善、介護ロボットやICT等のテクノロジーの導入、介護助手の活用など、介護現場の革新、生産性向上に資する様々な支援施策を一括して検討する会議を開催する。</li> </ul> <p>実施回数：年3回</p> <p>(2) 生産性向上に係る窓口相談の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員1名を配置し、介護ロボット・ICT等生産性向上などの相談に応じるとともに、人材確保や生産性向上に係る各種支援業務との連携を図る。</li> </ul> <p>(3) テクノロジーを活用した業務効率化モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護現場における介護ロボットやICTを活用した業務改善の取り組みをコンサルティングにより伴走支援するとともに、事業効果を検証して県内施設へ普及する。</li> </ul> <p>モデル施設：2施設</p>	<p>新1 介護事業者への支援</p> <p>(1) 介護現場革新会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回会議 9月8日(金) 山梨県福祉プラザ</li> <li>・第2回会議 12月7日(木) 山梨県福祉プラザ</li> <li>・第3回会議 令和6年3月4日(月) 山梨県福祉プラザ</li> </ul> <p>(2) 生産性向上に係る窓口相談の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数：26件</li> </ul> <p>(3) テクノロジーを活用した業務効率化モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル施設①老人保健施設フルリール甲府 ②特別養護老人ホーム 田富荘</li> <li>・業務課題の分析、介護ロボット・ICT等導入機器の検討、手順書作成、職員研修、振り返り等</li> <li>・施設見学会の開催 令和6年2月28日(水)、3月5日(火) 実際に導入現場での見学を行い、施設の課題や導入機器の選定理由など、運用開始までの説明。</li> <li>・成果報告会の開催 令和6年3月13日(水) モデル事業、取組の流れ、導入の成果、実行計画等について発表 ①老人保健施設フルリール甲府②特別養護老人ホーム田富荘 ③みのりの里老人保健施設旭ヶ丘④老人保健施設フルリールむかわ</li> </ul>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>(4) 介護助手等の普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「介護助手等普及推進員」を配置し、市町村や社協等を巡回して周知活動を行い、介護助手等の希望者の掘り起こしを行うとともに、介護事業所への介護助手等の導入の働きかけを行い、学生や元気高齢者など幅広い世代と介護施設や事業所との求人ニーズをマッチングする。</li> </ul> <p>(5) 外国人介護人材受入支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内の介護保険施設・事業所を対象として、外国人介護人材の受入制度等に関する研修会を実施する。</li> <li>事業所訪問活動を通じて把握した、外国人介護人材の受入を検討している福祉施設等に対して、受入に関する情報提供を行う。</li> </ul>	<p>(4) 介護助手等の普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国の取組状況等の情報収集・分析</li> <li>啓発用チラシの作成</li> <li>周知活動、人材掘り起こし、介護事業所への働きかけ</li> </ul> <p>(5) 外国人介護人材受入支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修会の開催：2回 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 9月22日（金）オンライン開催 受講者16名 「外国人介護人材受け入れの仕組みと事例紹介」 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 県外の医療・介護施設での外国人受け入れ事例紹介 講師 医療法人 大和会 西毛病院 事務次長・産業カウンセラー 大石 尚 さん</li> <li>② 外国人介護人材の採用方法と定着化、キャリア形成のポイント 講師 ポールトゥウィン株式会社 第四事業部 Stepjob グループ チーフコンサルタント 石原 由之 さん</li> </ul> </li> <li>第2回 11月22日（水）オンライン開催 受講者9名 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「山梨県における外国人介護人材受入状況と取組」 説明 山梨県福祉保健部 健康長寿推進課 介護サービス振興担当 課長補佐 小泉拓也さん</li> <li>② 事例紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人 奥湯村福祉会 理事長 立川 勉 さん</li> <li>・特別養護老人ホーム尚古園 施設長 西山 高美 さん</li> </ul> </li> <li>③ 「外国人介護職員の雇用促進・定着について」 講師 山梨メディカルケア協同組合 理事長 飯久保 貴 さん</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>2 福祉・介護に関する相談・就業促進事業</p> <p>(1) 福祉人材センター窓口の運営</p> <p>①福祉・介護分野の求人・求職相談。</p> <p>②福祉・介護分野の無料職業紹介。</p> <p>③福祉・介護分野の求人・求職者のマッチング。</p>	<p>2 福祉・介護に関する相談・就業促進事業</p> <p>(1) 福祉人材センター窓口の運営</p> <p>○窓口（出張含む）相談件数（延べ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・求人相談：171件【187件】</li> <li>・求職相談：428件【415件】</li> </ul> <p>○電話相談件数（延べ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・求人相談：1,613件【1,621件】</li> <li>・求職相談：762件【1,034件】</li> </ul> <p>○福祉人材センター公式LINEでの相談件数（延べ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・求職相談：474件【512件】</li> </ul> <p>○無料職業紹介事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・求人求職状況（令和6年3月31日現在）</li> <li>有効求職者数：93名＜年間延1,119名＞ 【101名/延962名】</li> <li>有効求人数：741名＜年間延8,735名＞ 【742名/延8,116名】</li> <li>有効求人倍率：7.81倍【7.35倍】</li> <li>・採用件数</li> <li>紹介状発行件数：63件【64件】</li> <li>採用者数（福祉人材センター経由）：54名【59名】</li> </ul> <p>○求人・求職システムの運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スカウトサービス（オンライン求職登録者）の実施</li> <li>スカウト件数：延454名【延659名】</li> <li>・リクエストサービス（Web対応不可の者）の実施</li> <li>リクエスト件数：延157名【延139名】</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(2) 離職介護福祉士等登録制度の普及・啓発 介護福祉士等有資格者が離職中においても、介護等の最新情報や就職サポートが受けられるよう、同制度への登録を促す。</p> <p>(3) 福祉のしごと求人情報の作成・配信 福祉人材センターに登録した求職者に求人情報をメールで配信する。 ・回数：毎月1回、年12回</p> <p>(4) 福祉の仕事職場説明・相談会及び福祉の就職総合フェアの開催 一般求職者や学生が求人事業所と個別相談ができる機会を提供し、福祉の仕事の理解を深め就労の促進を図る。 ・開催方法：オンライン      ・開催方法：対面形式 ・実施回数：随時              ・実施回数：年2回 ・対象：一般(求職者)      ・対象：一般(求職者)及び学生(大学、短大、専門学校等)</p>	<p>(2) 離職介護福祉士等登録制度の普及・啓発 ・登録者数：672名【571名】 ・新規登録者あて更新手続き案内送付 ・既届出登録者あて確認・更新依頼送付</p> <p>(3) 福祉のしごと求人情報の作成・配信 ○人材センターHPへ掲載・メール配信 ・発行回数：12回【12回】 (毎月部【200部】) ○各号ホームページに併せて掲載 ・メール配信回数：12回【12回】</p> <p>(4) ふくしの仕事職場説明会・相談会 ○第1回「福祉の就職総合フェア in やまなし」 ・日時：8月1日(火) 午前の部：10:00～12:00 午後部の部：13:30～15:30 ・会場：山梨県立図書館イベントスペース ・参加者 参加法人：45法人(午前23、午後22) 【36法人】 ・参加求職者：34名(学生23、一般11)【53名】 ○第2回「福祉の就職相談会 in やまなし」 ・期日：令和6年3月6日(水) 12:50～15:30 ・会場：山梨県立図書館イベントスペース ・参加者 参加法人：23法人【19法人】 ・参加求職者：26名(学生10名・一般16名)【10名】</p>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>(5) キャリア支援専門員による求職者支援活動の実施</p> <p>①ハローワーク内での相談支援の実施。また、職業訓練機関とも連携し、同様の活動を行う。</p> <p>②ハローワーク内及びその管内において就職セミナー、施設種別説明会、合同面接会等の実施。</p> <p>③ハローワークと連携し、毎月ハローワークへの巡回相談を行い、福祉・介護分野への求職者の就職支援を行う。</p> <p>(6) 求人・求職開拓活動の実施</p> <p>①求職者が参加しやすいよう、地域別の就職相談会を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：年7回（峡中3回、峡北1回、峡南1回、峡東1回、富士東部1回）</li> <li>・開催方法：対面形式またはオンライン</li> </ul> <p>②福祉・介護事業所を訪問し、求人・求職の情報収集・提供を行う。</p>	<p>(5) キャリア支援専門員による求職者支援活動の実施</p> <p>①職業訓練機関日建学院山梨校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月17日：受講者13名</li> <li>・7月26日：受講者7名</li> <li>・10月25日：受講者7名</li> <li>・令和6年1月11日：受講者11名</li> <li>・内容：福祉人材センター紹介、求職者登録など実施。</li> </ul> <p>②福祉・介護の仕事セミナー（ハローワーク甲府）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間：5月～/10回開催【11回】</li> </ul> <p>③巡回相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワーク甲府 期間：4月～/12回開催【12回】</li> <li>・ハローワーク韮崎 期間：5月～/11回開催【12回】</li> </ul> <p>(6) 求人・求職開拓活動の実施</p> <p>地域別就職相談会</p> <p>○第1回（オンライン）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域：富士・東部</li> <li>・期日：6月22日（木）・23日（金）</li> <li>・参加事業所：6事業所【1事業所】</li> <li>・参加者：0名【1名】</li> </ul> <p>○第2回（参集）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域：峡中</li> <li>・期日：7月21日（金）</li> <li>・参加事業所：6事業所【6事業所】</li> <li>・参加者：0名【10名】</li> </ul> <p>○第3回（参集）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域：峡北</li> <li>・期日：9月22日（金）</li> <li>・参加事業所：6事業所【-】</li> <li>・参加者：1名【-】</li> </ul>



計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第4回(参集) <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域: 峡中 (南アルプス市除く)</li> <li>・期日: 10月27日(金)</li> <li>・参加事業所: 6事業所【6事業所】</li> <li>・参加者: 3名【8名】</li> </ul> </li> <li>○第5回(参集) <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域: 峡中・峡南</li> <li>・方法: 対面式</li> <li>・期日: 11月14日(火)</li> <li>・参加事業所: 6事業所【5事業所】</li> <li>・参加者: 13名【2名】</li> </ul> </li> <li>○第6回(参集) <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域: 峡東</li> <li>・期日: 12月5日(火)</li> <li>・参加事業所: 6事業所【6事業所】</li> <li>・参加者: 11名【1名】</li> </ul> </li> <li>○第7回(参集) <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域: 峡中地域</li> <li>・期日: 令和6年2月2日(金)</li> <li>・参加事業所: 6事業所【-】</li> <li>・参加者: 7名【-】</li> </ul> </li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(7) 潜在的有資格者等の再就業を促進する「職場体験(無資格者)」、「職場実習(有資格者)」の実施 福祉・介護分野への就労を促進するため、福祉・介護職場への体験機会を提供する。</p> <p>①他分野からの離職者等を対象とした「職場体験」の実施。 ・実施回数：体験日数2日×40名</p> <p>②潜在的有資格者等の求職者を対象とした「職場実習」の実施。 ・実施回数：体験日数3日×6名</p> <p>(8) 中高年者対象介護入門講座 中高年者など介護未経験者の福祉・介護分野への参入を促進するための講座を開催する。 ・実施回数：1講座2日間(12時間)×2回 ・対象：中高年者(概ね50歳～64歳) ・会場：2市町村程度</p>	<p>(7) 潜在的有資格者等の再就業を促進する「職場体験(無資格者)」、「職場実習(有資格者)」の実施</p> <p>①職場体験 ・受入登録事業所：149事業所【141事業所】 ・延体験者：18名【21名】 ・延体験日数：27日【27日】 ・体験後採用者：1名【1名】 ※新型コロナウイルス感染症の影響により4件(5日)中止・縮小。</p> <p>②職場実習 ・受入登録事業所：149事業所【141】 ・延体験者：2名【0名】 ・延体験日数：6日【0日】 ・体験後採用者：1名【0名】</p> <p>(8) 中高年者対象介護入門講座</p> <p>①山中湖村社会福祉協議会(共催) ・期日：9月29日(金)、10月13日(金)、10月27日(金)、11月10日(金)の4日間 ・会場：山中湖村老人福祉しあわせセンター ・参加者：延97名</p> <p>②上野原市社会福祉協議会(共催) ・期日：令和6年1月17日(水)、1月24日(水)、1月31日(水)、2月7日(水)の4日間 ・会場：上野原市総合福祉センターふじみ ・参加者：延70名</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(9) 介護職員初任者研修助成事業 福祉人材センター経由で就労し、働きながら介護職員初任者研修の修了を目指す者に対し、研修受講料等を助成する。 ・対象経費：介護職員初任者研修の受講料、教材費として研修機関に支払った費用 ・助成額：10万円以内 ・募集人員：5名</p> <p>(10) マッチングカフェ（個別面談・相談会）の開催 求人施設と求職者の個別面談・相談会を開催する。 ・実施回数：週1回程度（毎週水曜日） ・対象：求職者</p> <p>3 福祉・介護に関する理解促進事業 (1) 福祉の仕事セミナーの開催 福祉職場の就労に必要な情報や福祉施設の仕事内容などを動画で配信し、福祉職への理解・啓発の促進、及び就労時のミスマッチを防ぐ。 ①一般向け 動画内容 1. メイン講義 2. 職場紹介（高齢・障害・児童） 3. 福祉人材センター紹介 ※ 2と3は高校生向けと同内容 ②高校生向け 動画内容 1. メイン講義（福祉の仕事の魅力について） 2. 職場紹介（高齢・障害・児童） 3. 福祉人材センター紹介 ※ 2と3は一般向けと同内容</p>	<p>(9) 介護職員初任者研修助成事業 ・助成実績：3名【0名】 130,000円【0千円】 ・周知：山梨日日新聞紙面（山日ワーク）に掲載 ・掲載回数：1回【1回】 ・その他の周知：ハローワーク巡回相談・研修受講者へ周知、人材センターの公式LINEにて情報発信</p> <p>(10) マッチングカフェ（個別面談・相談会）の開催 ・期間：5月～令和6年3月 毎週水曜日 ・開催回数：37回【43回】 ・参加事業所：37事業所【43事業所】 ・参加者：17名【34名】 ・採用者：2名【4名】</p> <p>3 福祉・介護に関する理解促進事業 (1) 福祉の仕事セミナーの開催（①一般向け・②高校生向け） 福祉職への理解・啓発の促進を目的とし、福祉職場の紹介動画を作成・配信した。 （一般向け・高校生向け同内容） ・配信月：令和6年3月 ・配信動画件数：3件 ・内容：「私の一日」と題した各施設の実際に現場で働く職員の一日を福祉人材センターHPで紹介。 高齢者福祉施設（地域密着型総合介護施設コスモアンシア） 障害者福祉施設（就労継続支援B型きららベーカーリー） 児童福祉施設（児童養護施設くずはの森）</p>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>(2) 福祉のしごとガイドブック・デジタル版の更新 福祉の仕事や資格を掲載している「福祉のしごとガイドブック・デジタル版（デジタルブック）」を最新情報に更新する。 ・更新回数：年2回</p> <p>(3) 福祉人材センターニュース・デジタル版の作成 福祉人材センターからのお知らせや福祉施設の紹介情報等を掲載したセンターニュースをデジタル版（デジタルブック）で作成し、ホームページに掲載する。 ・発行回数：年4回（6月、8月、11月、2月を予定）</p> <p>(4) 福祉人材センター運営委員会の開催 （福祉介護人材確保県連絡会議） 福祉人材センター事業及び福祉・介護人材確保について、県内の福祉関係機関・団体の役職員と意見交換会を開催する。 ・実施回数：年1回</p> <p>(5) マスメディア等を活用したPR活動の実施 新聞広告などを通じて、福祉人材センターの各種事業等を広く周知し、福祉・介護への関心を高める。 ・新聞広告：随時</p> <p>(6) 他機関が実施する就職関連フェアへの参加 民間企業・行政等が開催する就職関連フェア（介護・保育）への相談ブースに出展する。</p>	<p>(2) 福祉のしごとガイドブック・デジタル版の更新 ・更新月：令和6年3月 ・更新回数：1回</p> <p>(3) 福祉人材センターニュース・デジタル版の作成 ・更新月：6月、8月、11月、令和6年2月 ・更新回数：4回</p> <p>(4) 福祉人材センター運営委員会の開催 （福祉介護人材確保県連絡会議） ・期 日：8月29日（火） ・会 場：山梨県福祉プラザ1階 研修室 ・内 容：令和5年度事業経過報告、令和6年度事業への要望、情報交換</p> <p>(5) マスメディア等を活用したPR活動の実施 ・山梨日日新聞（山日ワーク）広告掲載：9回【9回】 ・求人ジャーナル（新聞折込・店頭設置）：1回 ・求人ウィークリー（新聞折込・フリーマガジン） 1回 ・フリーマガジン「kaigoto」広告掲載：1回【1回】</p> <p>(6) 他機関が実施する就職関連フェアへの参加 ①「介護就職デイ」への協力・出展 （福祉・介護のしごと就職面接会） ・主 催：ハローワーク甲府・塩山・韭崎・鯉沢 ・共 催：福祉人材センター・介護労働安定センター ・期 日：11月10日（金） ・会 場：ベルクラシック甲府 ・参加者：37名</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(7) 福祉人材センター紹介リーフレットの作成 福祉人材センターの機能や役割などを周知するチラシを作成し、配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成部数：1,100枚</li> <li>・配布先：求人事業所、福祉・介護人材養成校(大学、短大、専門学校)等</li> </ul> <p>4 福祉・介護に関する魅力発信事業</p> <p>(1) ホームページの運用 センターの事業、相談会及び介護・保育のお仕事に関する各種情報などを発信する。</p> <p>(2) 公式LINE及び公式Twitterによる情報発信 求職登録している方に向け、求人情報の発信や個別の就職相談を行う。 更に、センターのイベント情報等の配信を行う。</p>	<p>②「福祉業界ガイダンス」への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催：山梨県立大学 キャリアサポートセンター</li> <li>・期 日：10月11日(水)</li> <li>・会 場：山梨県立大学飯田キャンパス</li> <li>・参加者：30名</li> </ul> <p>(7) 福祉人材センター紹介リーフレットの作成。 福祉人材センターPRチラシ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日：8月</li> <li>・作成部数：1,100枚【1,100枚】</li> <li>・配 布 先：市町村社協等</li> </ul> <p>4 福祉・介護に関する魅力発信事業</p> <p>(1) ホームページの運用 福祉人材センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 間：4月～</li> <li>・アクセス件数：延べ35,234件【28,941件】</li> </ul> <p>保育士保育所支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 間：4月～</li> <li>・アクセス件数：延べ11,862件【9,431件】</li> </ul> <p>(2) 公式LINE及び公式Xによる情報発信</p> <p>①公式LINE 福祉人材センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 間：4月～</li> <li>・友達登録数：598人【514人】</li> <li>・情報発信数：87件【119件】</li> <li>・内 容：福祉人材センター事業案内など</li> </ul> <p>②公式X 福祉人材センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 間：4月～</li> </ul>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>新（3）介護福祉士養成校や業界団体等と連携した魅力発信</p>	<p>・フォロワー数：521人【307人】          ・情報発信数：92件【88件】          ・内 容：福祉人材センター事業案内など          保育士保育所支援センター          ・期 間：4月～          ・フォロワー数：69人【52人】          ・情報発信数：86件【106件】          ・内 容：事業案内、保育の魅力発信など          ③公式 Instagram          保育士保育所支援センター          ・期 間：4月～          ・フォロワー数：321人【157人】          ・情報発信数：71件【64件】          ・内 容：事業案内、保育の魅力など</p> <p>新（3）介護福祉士養成校や業界団体等と連携した魅力発信          ・介護福祉士養成校や関係団体、介護機器業者等への協力要請          ・「見て、触れて、確かめて、介護フェスタ」          期日：11月14日（火）          会場：イオンモール甲府昭和          内容：①介護ロボット・福祉用具の展示・体験          ②認知症疑似体験          ③「介護アンバサダー」による何でも相談コーナー          ④介護福祉士養成校の紹介、発表          （帝京福祉専門学校、優和福祉専門学校）          ⑤ミニ講座「けん玉で介護予防」          ⑥スマートリハ体験          ⑦「介護の日」活動PR（山梨県介護福祉士会）</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(4) 事業所紹介ページの作成・情報発信 求人登録している事業所等をセンターHP等で紹介する。</p> <p>5 介護人材の確保に係る貸付事業</p> <p>(1) 介護福祉士・社会福祉士修学資金貸付事業 介護福祉士養成施設又は社会福祉士養成施設に在学し、卒業後、山梨県内の社会福祉施設等に就職し、介護福祉士(社会福祉士)として業務に従事しようとする者に対し、修学資金の貸付を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付内容：修学資金, 入学準備金, 就職準備金, 国家試験受験対策費用</li> <li>・対象：文部科学省又は厚生労働大臣が指定した養成施設等に在学し、介護福祉士又は社会福祉士の資格を取得して、卒業後に山梨県内で介護、相談業務に従事する意思のある者</li> <li>・返還免除：卒業後1年以内に介護福祉士(社会福祉士)の登録を行い、山梨県内で介護職員等として5年間継続して従事することにより返還免除</li> <li>・令和5年度貸付予定：55件(令和4年度継続者 22件、令和5年度新規貸付見込 33件)</li> </ul> <p>【貸付額】修学資金月額：50,000円以内  入学準備金：200,000円以内(入学時のみ)  就職準備金：200,000円以内(卒業時のみ)  国家試験受験対策費用：40,000円(介護福祉士のみ)  生活保護世帯加算：居住地の生活扶助基準の居宅(第1類)に掲げる額のうち貸付対象者の年齢に対応する年齢区分の額に相当する額以内</p>	<p>(4) 事業所紹介ページの作成・情報発信 福祉人材センター  ・掲載月：令和6年3月  ・掲載動画件数：3件【3件】  保育士保育所支援センター  ・掲載施設：16施設  ・内容：保育所の特色、保育内容、基本情報、保育士さんへのメッセージなどを写真や動画と合わせて紹介。</p> <p>5 介護人材の確保に係る貸付事業</p> <p>(1) 介護福祉士・社会福祉士修学資金貸付事業</p> <p>①貸付決定者：21名 16,971千円【24名 18,074千円】 (介護20名・社会1名)</p> <p>②継続貸付者(～令和3年度までに契約した貸付者)。  ：22名 15,886千円【19名 14,940千円】 (介護19名・社会3名)</p> <p>③返還猶予決定者：25名【22名】 (R6.3.31現在返還猶予者合計：79名)</p> <p>④返還免除決定者：17名【17名】</p> <p>⑤返還決定者：4名【2名】 (R6.3.31時点返還者合計：9名)</p>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>(2) 介護人材再就職準備金貸付事業            介護職員として一定の知識及び経験を有する離職中の者に対し、山梨県内で再就職する際に必要な費用の貸付を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸付内容：子どもの預け先を探す際の活動費、介護に係る情報収集や学び直し費用、ヘルパー道具を入れる鞆などの購入費用等</li> <li>・ 対象：介護職員として1年以上の職務経験を有する者で、介護職員として再就職を目指す者</li> <li>・ 返還免除：山梨県内で介護職員として、2年間継続して従事することにより返還免除</li> <li>・ 令和5年度貸付予定：15件              【貸付額】400,000円以内</li> </ul> <p>(3) 介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業            介護福祉士実務者養成施設に在学し、介護福祉士の資格取得を目指す者に対し、研修の受講に要する費用の貸付を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸付内容：実務者養成施設に支払う授業料、実習費及び教材費等のほか、参考図書、学用品、国家試験の受験手数料等</li> <li>・ 対象：介護福祉士実務者養成施設に在学し、介護福祉士の資格取得を目指す者</li> <li>・ 返還免除：研修修了後、1年以内に介護福祉士の登録を行い、山梨県内で介護福祉士として2年間継続して従事することにより返還免除</li> <li>・ 令和5年度貸付予定：97件              【貸付額】200,000円以内</li> </ul>	<p>(2) 介護人材再就職準備金貸付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 貸付決定者：6名 2,398千円【4名/1,456千円】</li> <li>② 返還猶予決定者：6名【6名】              (R6.3.31時点返還猶予者合計：9名)</li> <li>③ 返還免除決定者：3名【8名】</li> <li>④ 返還決定者：1名【0名】              (R6.3.31時点返還者合計：1名)</li> </ul> <p>(3) 介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 貸付決定者：44名 6,398千円【36名/4,068千円】</li> <li>② 返還猶予決定者：38名【26名】              (R6.3.31時点返還猶予者合計：69名)</li> <li>③ 返還免除決定者：28名【44名】</li> <li>④ 返還決定者：7名【11名】              (R6.3.31時点返還者合計：4名)</li> </ul>



計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>(4) 介護分野・障害福祉分野就職支援金貸付事業 山梨県内の介護人材を確保するため、介護分野及び障害福祉分野以外の他業種で働いていた者に対し、介護・障害福祉分野に介護職として転職する場合、転職に必要な費用の貸付を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付内容：子どもの預け先を探す際の活動費、介護に係る情報収集や学び直し費用、業務に必要な道具を入れる鞆などの購入費用等</li> <li>・対象：①前職が介護・障害福祉分野以外の業種で働いていた者 ②所定の研修を受講し修了した者 ③介護保険サービス施設又は障害者福祉サービス事業所 ・施設に就労を予定している者 ④再就職準備金、又は介護・障害福祉分野の就職支援金の貸付を受けていない者</li> <li>・返還免除：山梨県内の介護福祉施設又は障害者福祉サービス施設等で介護職員として2年間継続して従事することにより返還免除</li> <li>・令和5年度貸付予定：①介護分野への就職、20件 ②障害分野への就職、20件 【貸付額】200,000円以内</li> </ul> <p>6 潜在保育士等の就職に関する相談等の支援 (1) 保育士・保育所支援センター窓口の運営 離職中の潜在保育士や保育所等からの求人・求職相談、マッチングを行う。</p>	<p>(4) 介護分野・障害福祉分野就職支援金貸付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①貸付決定者：5名 929千円【12名 2,375千円】 (介護5名・障害0名)</li> <li>②返還猶予決定者：5名【15名】 (R6.3.31時点返還猶予者合計：14名)</li> <li>③返還免除決定者：6名【0名】</li> <li>④返還決定者：2名【0名】 (R6.3.31時点返還者合計0名)</li> </ul> <p>6 潜在保育士等の就職に関する相談等の支援 (1) 保育士・保育所支援センター窓口の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○相談状況</li> <li>①窓口（出張含む）相談件数（延べ） ・求人相談：5件【15件】／求職相談：36件【24件】</li> <li>②電話相談件数（延べ） ・求人相談：308件【241件】／求職相談：85件【55件】</li> <li>③公式LINEでの相談件数（延べ） ・求人相談：3件【5件】／求職相談：239件【386件】</li> <li>○求人求職状況（R6.3.31日現在） ・有効求職者数：12名 &lt;年間延108名&gt;</li> </ul>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>(2) 保育所訪問活動            保育所等を訪問し、事業所登録の促進や求人開拓を行う。            ・訪問予定数：50 保育所等</p> <p>(3) 潜在保育士等就職・職場復帰応援セミナー（動画配信）・保育現場見学会            保育現場への就労、復職を促進するため、保育制度や現場の業務内容等に関する講義を動画配信し、就職・復職前の学習の機会を設ける。また、併せて保育現場への見学会を実施する。            ・対象：保育士有資格者で、保育現場の勤務経験がない方や就職・復職を考えている方            ・配信期間：準備完了後、令和6年3月31日            ・現場見学：動画視聴後、希望に応じて保育所等を見学し保育業務の理解を深める。</p>	<p>【11名/74名】            ・有効求人数：44名 &lt;年間延625名&gt;            【59名/368名】            ・有効求人倍率：3.67倍【5.36倍】</p> <p>○採用件数            ・紹介状発行件数：14件【6件】            ・採用者数：11名【6件】</p> <p>(2) 保育所訪問活動            ・訪問数：68 保育所等【98 保育所等】</p> <p>(3) 潜在保育士等就職・職場復帰応援セミナー（動画配信）・保育現場見学会            ○保育のお仕事 就職・復職応援Webセミナー            ・講義1「保育制度と保育指針等の理解」            講師：山梨学院短期大学 特任講師 深沢 佐恵香 さん            ・講義2「保育現場で求められている保育士像」            講師：宮前保育園 園長 窪田 嘉代子 さん            ・講義3「子どもの対応支援」            講師：山梨県立大学 准教授 里見 達也 さん            ・講義4「保護者とのコミュニケーションと相互理解」            講師：大原学園甲府校 教員 三枝 祐太 さん            ・講義5「保育現場における事故対策・感染症対策」            講師：帝京学園短期大学 教授 井上 聖子 さん</p> <p>○配信期間：4月～            ○視聴料：無料            ○申込施設：3施設            ○申込者：10名【12名】            ○保育所見学：保育所見学を希望する受講者には、受入保育所の選定・調整を行った。            ○保育所見学申込者：0名【2名】</p>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>(4) 潜在保育士の掘り起こし・登録 ①保育所等への巡回訪問、養成校との連携。</p> <p>臨②山梨県が管理する保育士登録者名簿を活用し、保育人材バンクへの登録を促進し、潜在保育士の掘り起こしを行い、就労へ繋げる。</p> <p>(5) 保育士・保育所支援センター紹介リーフレットの作成 福祉人材センター並びに保育士・保育所支援センターの機能や役割などを周知するチラシを作成し、配布する。 ・作成部数：3,500枚 ・配布先：県内保育所（認定こども園含む）、保育士養成校（大学、短大・専門学校）等</p>	<p>(4) 潜在保育士の掘り起こし・登録 ①保育士等への巡回訪問、養成校との連携 ○関係機関等への巡回訪問などを通じて、保育士資格を有する者の届出登録について周知した。 ○保育士資格届出件数：53件【121件】 ○訪問・周知先：市町村、保育士養成校、ハローワーク、保育所、子育て支援センター等 臨②保育士養成校と連携し、「保育の魅力発信・交流会 2023inやまなし」を開催。 日 時：8月4日（金）13時10分～15時30分 会 場：山梨学院短期大学 21号館 共 催：山梨県私学教育振興会 幼稚園部会 協 力：県内保育士養成校5校 参加施設：58施設（54ブース） 参加学生：約280名 ③ハローワークと連携し、出張相談会の開催や「福祉・介護の仕事セミナー」に参加し、潜在保育士の掘り起こし、求職登録、資格の届出登録を行った。 ○出張相談会：4回 相談者計5名 ○福祉・介護の仕事セミナー：1回 参加者3名 ○リーフレットを活用した登録促進 ・リンクッズ広告掲載：10・11月号、12・1月号 ・パルピエ・ピグレ・なないろ・ただいま各紙広告掲載：12月号 ・ちびっこぶれす広告掲載：2月号 (5) 保育士・保育所支援センター紹介リーフレットの作成 保育士支援センターPRチラシ ・期 日：7月 ・作成部数：4,000枚 ・配布先：市町村、県内保育施設、保育士養成校、公共職業安定所、図書館、子育て支援センター、スーパー、ドラッグストア等</p>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>7 保育人材の確保に係る貸付事業</p> <p>(1) 保育士修学資金貸付事業</p> <p>山梨県内の保育人材を確保するため、保育士資格の取得を目指し「保育士養成施設」に在学し、卒業後は山梨県内の保育所等で保育士として就職する意思を持つ者に対し、在学期間中の学費（授業料・実習費など）など修学に必要な費用の貸付を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付内容：修学資金、入学準備金、就職準備金</li> <li>・対象：保育士養成施設（県内外は問わない）に在学し、卒業後、山梨県内の保育所等で保育士として従事する意思のある者</li> <li>・返還免除：養成施設を卒業した日から1年以内に保育士登録を行い、山梨県内の保育所等で保育士として5年間継続して従事することにより返還免除</li> <li>・令和5年度貸付予定：41件（令和4年度継続者21件、令和5年度新規貸付見込20件）</li> </ul> <p>【貸付額】①修学資金月額：50,000円以内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>②入学準備金：200,000円以内（入学時のみ）</li> <li>③就職準備金：200,000円以内（卒業時のみ）</li> <li>④生活費加算：生活保護受給世帯等の者が対象（生活保護法による保護の基準に基づき申請者の年齢等に応じて1ヶ月単位で学費に加算）</li> </ul>	<p>7 保育人材の確保に係る貸付事業</p> <p>(1) 保育士修学資金貸付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①貸付決定者：13名 975千円 【21名/13,981千円】</li> <li>②継続貸付者（令和3年度に契約した者）：8名 5,700千円</li> <li>③返還猶予決定者：9名 【8名】 (R6.3.31時点返還猶予者合計：12名)</li> <li>④返還免除決定者：0名 【0名】</li> <li>⑤返還決定者：1名 【0名】 (R6.3.31時点返還者合計：1名)</li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(2) 保育士就職準備金貸付事業            保育士資格を有する者であり、保育士として勤務していない者に対して、山梨県内の保育所等に就職する際に必要な資金の貸付を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付内容：就職のために必要となる転居費、通勤用自転車の購入費、復帰にあたり受けた研修の受講費等</li> <li>・対象：保育士資格を有する者で、保育士として就職を目指す者</li> <li>・返還免除：就職した保育施設において保育士として2年間継続して従事することにより返還免除</li> <li>・令和5年度貸付予定：15件</li> </ul> <p>【貸付額】200,000円以内</p> <p>8 介護等体験受入調整事業            平成10年4月1日から「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」の施行により、小学校及び中学校の教員免許取得希望者に対し、社会福祉施設等での介護等体験の受入調整を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験予定日数：連続5日間</li> <li>・体験予定期間：令和5年8月～令和6年2月</li> <li>・受入調整予定：520名程度</li> </ul>	<p>(2) 保育士就職準備金貸付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①貸付決定者：6名 1,171千円【5名/892千円】</li> <li>②返還猶予決定者：4名【5名】            (R6.3.31時点返還猶予者合計：15名)</li> <li>③返還免除決定者：1名【2名】</li> <li>④返還決定者：0名【1名】            (R6.3.31時点返還者合計：0名)</li> </ul> <p>8 介護等体験受入調整事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込大学：8校【5校】            (県内校【5校】、県外校【3校】)</li> </ul> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により大学での代替措置を適用する大学あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込学生：493名【526名】</li> <li>・受入施設：延べ85施設【76施設】</li> <li>・体験終了者：485名【524名】</li> <li>・体験辞退者：6名【2名】</li> <li>・体験中止者：2名【0名】</li> </ul>

### 推進施策3 地域福祉を支える人づくり

#### 実施事業(2) 福祉・介護職員の定着支援

(介護福祉総合支援センター、保育士・保育所支援センター、総務企画課)

計画内容	実施報告(状況) ※【・】内は前年度実績
<p>1 福祉・介護分野への定着支援事業</p> <p>(1) 採用者フォローアップ訪問 福祉人材センターが紹介し採用された者の事業所を訪問し、就業状況の把握と職場への定着を支援する。</p> <p>(2) 福祉職員の交流の場づくり(～ゆるゆるミーティング～) 様々な福祉職場の職員同士が、業務上の悩みを気軽に話し、仲間づくりができる場を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：年3回</li> <li>・対象：入職1年～2年の者</li> </ul>	<p>1 福祉・介護分野への定着支援事業</p> <p>(1) 就業後フォローアップ訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間：5月～3月</li> <li>・対象者：40名(福祉人材センター経由で就職した者)【49名】</li> <li>・訪問人数：30名【34名】</li> </ul> <p>(2) 福祉職員の交流の場づくり</p> <p>①第1回：9月7日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場：コワーキングスペース上谷交流センター(都留市)</li> <li>・講師：介護老人保健施設はまなす 施設長 福田 六花 さん</li> <li>・内容：講演「介護の仕事のやりがいや楽しさ～これまでの趣味や経験を交えて」、交流会</li> <li>・参加者：9名【5名】</li> </ul> <p>②第2回：10月11日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場：ifセンター生涯学習館(市川三郷町)</li> <li>・講師：株式会社 斬新社 代表取締役 久保田 好正 さん</li> <li>・内容：パラスポーツ ボッチャ体験、ミニ講義「山梨の介護現場の魅力を高めるには」、交流会</li> <li>・参加者：7名【5名】</li> </ul> <p>③第3回：11月24日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場：スタジオ ペレット(甲府市)</li> <li>・講師：山梨福祉太郎 宿沢 一樹さん、飯室 雄真 さん</li> <li>・内容：ボードゲーム体験、ミニ講義「福祉の仕事のこれからを考えよう」、交流会</li> <li>・参加者：9名【6名】</li> </ul>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>2 保育士の交流の場づくり（～やまなしHOIKUひろば～）            保育所等の保育士同士が、業務上の悩みを気軽に話し、仲間づくりが出来る場を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：年3回</li> <li>・対象：入職1年～2年の者</li> </ul>	<p>2 保育士の交流の場づくり（～やまなしHOIKUひろば～）</p> <p>①1回目：11月20日（月）13時30分～16時30分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○会場：山梨県福祉プラザ 研修室1</li> <li>○対象者：概ね5～10年未満の経験がある中堅保育士</li> <li>○参加者：16名【7名】</li> <li>○内容：講義「行動・発達面で、気がかりがある子どもとの『ちょうどよい』かかわり方」            実技「楽しい運動遊びをとおして、子どものからだ・あたま・こころを育てるムーブメント教育・療法の実際」            交流会・相談会「保育の悩み、保護者への対応、その他困っていること…」            講師：山梨県立大学看護学部 教授 阿部 美穂子 さん</li> </ul> <p>②2回目：12月19日（火）9時30分～12時30分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○会場：山梨県福祉プラザ 研修室1</li> <li>○参加者：13名【18名】</li> <li>○内容：講義「アートがひらく保育と子ども理解（水彩絵の具）」            実技「水彩絵の具を使って遊ぼう」            交流、相談会「保育の悩み、活動のアイデア、その他困っていること…」            講師：山梨学院短期大学保育科 講師 加山 総子 さん</li> </ul> <p>③3回目：令和6年1月19日（金）13時30分～16時30分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○会場：山梨県福祉プラザ 研修室1</li> <li>○参加者：16名</li> <li>○内容：講義Ⅰ・実技「こころを育てるわらべうた」            講師：NPO法人すてっぷ・あっぷる 理事 塚田 純子 さん            講義Ⅱ「発達の特徴のある子の見方」～明日から使える知識と技術～            交流会・相談会「保育の悩み、子どもとの関わり、その他困っていること…」            講師：作業療法学コース 助教 渡辺 俊太郎さん</li> </ul>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>3 保育人材の定着に係る貸付事業</p> <p>(1) 未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付事業 未就学児を持つ保育士の方が、山梨県内の保育所等に新たに勤務する場合や産休・育休等から復職する場合に、子どもの保育料や預かり支援の利用料に対して一部貸付を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付内容：保育料、または子ども預かり支援事業利用料の一部貸付</li> <li>・対 象：未就学児を持つ保育士で、保育所等において週 20 時間以上の勤務を行う者</li> <li>・返還免除：山梨県内の保育所等で保育士として 2 年間継続して従事することにより返還免除</li> <li>・令和 5 年度貸付予定：16 件 【貸付額】未就学児の保育料の半額（月額 27,000 円を上限） 子ども預かり支援事業利用料の半額</li> </ul> <p>4 退職手当等共済事業</p> <p>(1) 山梨県民間社会福祉事業従事者退職手当共済制度 民間社会福祉施設・団体職員の退職後の生活安定のため、県単退職手当金共済制度を運営し、社会福祉事業への定着支援を図るとともに魅力ある福祉の職場づくりを支援する。 共済契約者：199 法人〔令和 5 年 2 月 1 日現在〕 被共済職員：6,094 人〔同上〕</p> <p>①退職手当金の給付</p> <p>②基金運営委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告、決算の承認（6 月）</li> <li>・事業計画・予算の作成（3 月）</li> <li>・財政健全化、給付原資保有率の適正化</li> </ul>	<p>3 保育人材の定着に係る貸付事業</p> <p>(1) 未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付事業</p> <p>①貸付決定者：3 名 653 千円【7 名 1,174 千円】</p> <p>②継続貸付者（～令和 5 年度までに契約した貸付者） ：3 名 404 千円【5 名 158 千円】</p> <p>③返還猶予決定者：10 名【3 名】 (R6.3.31 時点返還猶予者合計：9 名)</p> <p>④返還免除決定者：7 名【3 名】</p> <p>⑤返還決定者：0 名【0 名】 (R6.3.31 時点返還者合計：0 名)</p> <p>4 退職手当等共済事業</p> <p>(1) 山梨県民間社会福祉事業従事者退職手当共済制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共済契約者：199 法人〔令和 6 年 2 月 1 日現在〕</li> <li>・被共済職員：5,866 名〔同上〕</li> </ul> <p>①退職手当金の給付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・689 名 計 414,016,060 円【766 名 計 384,199,070 円】</li> </ul> <p>②基金運営委員会（3 回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回 期日 8 月 2 日（水） 会場 県福祉プラザ 4 階会議室 内容 委員委嘱、令和 4 年度退職手当等共済事業執行状況、令和 4 年度退職手当等共済事業収支決算、山梨県民間社会福祉事業従事者退職手当共済事業将来推計業務委託について</li> </ul>



計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>③退職共済申請書類に関する問い合わせ対応</p> <p>臨④関東ブロック民間社会福祉従事者共済制度情報連絡会への参加 (12月 当番県：山梨県)</p> <p>(2) 社会福祉施設職員等退職手当共済制度福祉医療機構受託業務 共済契約者：186 法人〔令和4年4月1日現在〕 被共済職員：5,735 名〔同上〕</p> <p>①退職届出書類の收受及び確認、機構への書類送付</p> <p>②退職届書類に関する問い合わせ対応</p>	<p>・第2回 期日 令和6年2月1日(木) 内容 将来推計に係る委託調査の結果報告、乗率改定に向けた今後の進め方について</p> <p>・第3回 期日 令和6年3月12日(火)～18日(月)(書面開催) 内容 令和5年度退職手当等共済事業補正予算案、令和6年度退職手当等共済事業計画案・当初予算案、山梨県民間社会福祉事業従事者退職手当共済制度の運営に関するアンケート結果報告について</p> <p>③退職共済申請書類に関する問い合わせ対応 ・随時対応し、適切な制度運用に努めた</p> <p>臨④関東ブロック民間社会福祉従事者共済制度情報連絡会の開催 期日 11月29日(水) 13:30～16:00(リモート) 内容 関東甲信越静各都県市の13団体が参加、各団体の退職共済制度等の実施状況並びに抱える課題に関する意見交換を実施</p> <p>(2) 社会福祉施設職員等退職手当共済制度福祉医療機構受託業務 ・共済契約者：186 法人〔令和5年4月1日現在〕 ・被共済職員：5,718 名</p> <p>①退職届出書類の收受及び確認、機構への書類送付 ・対応件数：577 件【544 件】</p> <p>②退職届書類に関する問い合わせ対応 ・随時対応し、適切な制度運用に努めた</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>5 福利厚生センター事業(福利厚生センター受託業務)            契約者数:29 法人〔令和5年2月14日現在〕            加入職員:1,174名〔同上〕</p> <p>(1) 会員交流事業の企画・実施            (方法) 福利厚生センター会員に対する福利厚生増進の一環として、旅行等の交流事業を企画実施する。            (対象) 県内福利厚生センター会員            (時期) 5月～</p> <p>(2) 会員の加入促進            (方法) 福利厚生センター未加入法人に対し、福利厚生センターとともに事業説明等を行う。            また、アンケート等を通じ、未加入法人へのアプローチを強化するとともに、管理情報の更新を行う。            (対象) 福利厚生センター未加入法人            (時期) 随時</p> <p>(3) 福利厚生・情報会議の設置、運営の検討            (方法) 福利厚生センター会員にとって魅力ある福利厚生事業を推進するため、会員を委員とする福利厚生・企画会議の設置を検討し・運営する。            (対象) 福利厚生契約法人に所属する会員            (時期) 8月～</p>	<p>5 福利厚生センター事業(福利厚生センター受託業務)            契約者数:28 法人〔令和6年2月14日現在〕            加入職員:1,098名〔同上〕</p> <p>(1) 会員交流事業の企画・実施            ①ハイランドリゾートホテルのランチ&amp;ふじやま温泉            実施日 ①令和6年1月28日(日) ②2月12日(祝・月)            ③2月18日(日)            当選者数 ①30名 ②19名 ③40名            ②東京ディズニーリゾート・コポレートプログラム利用券幹旋            当選者数 205名            利用時期 12月～令和6年2月末            ③QUOカード配付事業            配布数 1,098名(加入者全員)            金額 500円/枚</p> <p>(2) 会員の加入促進            ①未加入の社会福祉法人などを担当者がパンフレットを持参して直接訪問し、加入の働きかけを行った。            ・訪問法人数 12法人(この他資料の送付のみ1法人)            ・実施時期 令和6年1月            ②未加入法人のデータの更新を行った。            ・実施時期 令和6年2・3月</p> <p>(3) 福利厚生・情報会議の設置、運営の検討            ・会議設置の必要性和有効性について再検討を行った。            ・その結果、県内の会員数が28法人(51事業所)と少なく、会議の設置も任意とされていること、また、設置しない場合でもニーズの把握に努めることとされていることから、加入法人(事業所)を直接訪問してニーズ把握に努めることに変更した。            ・訪問法人数 10法人            ・実施時期 令和6年1月</p>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
	<p>臨（４）地方委託講習会（レクリエーション・リーダー講習会）の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福利厚生センターの委託を受け、次のとおり会員事業所の職員を対象に講習会を開催した。</li> <li>・開催日時 令和6年3月5日 午後1時30分から</li> <li>・場 所 小瀬スポーツ公園武道館第二武道場</li> <li>・参加者 5施設7名（参加施設で実習中の学生1名を含む）</li> </ul>

### 推進施策3 地域福祉を支える人づくり

#### 実施事業(3) 健全な施設運営と働きやすい職場づくりを推進するための福祉・介護サービスの運営支援

(介護福祉総合支援センター、保育士・保育所支援センター、福祉振興課)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>1 福祉・介護施設運営支援事業</p> <p>(1) 事業所訪問活動の強化 求人施設の新規開拓を進めるとともに、併せて、職員の雇用に関する課題や定着に資する取り組みを把握し、働きやすい職場づくりを推進する。</p> <p>2 保育士の働き方改革の支援事業</p> <p>(1) 保育所訪問活動</p> <p>(2) 保育現場の働き方改革の支援・専門家派遣事業 園児の保育業務以外に、膨大な事務作業が求められる保育士の労働環境や働き方の見直しに関するセミナーを開催するとともに、「働きやすい職場づくり」を目指す保育所等に経験豊かな保育士や社会保険労務士などの専門家を派遣し、保育現場における働き方改革を支援する。</p> <p>①セミナーの開催 ・実施回数：年1回 ・専門家派遣：随時 ・定員：80名(内訳：オンライン50名、対面形式30名) ・開催方法：オンラインまたは対面形式</p> <p>②専門家の派遣調整</p>	<p>1 福祉・介護施設運営支援事業</p> <p>(1) 事業所訪問活動の強化 近年求人票の提出のない福祉・介護事業所と未登録事業所を対象に職員充足状況や職員定着の取り組みなど、聞き取りを行った。訪問事業所数20ヶ所</p> <p>2 保育士の働き方改革の支援事業</p> <p>(1) 保育所訪問調査活動 ○訪問数 ・保育所等：68施設【98施設】</p> <p>(2) 保育現場の働き方改革の支援、専門家派遣事業 ①セミナーの開催 ○「保育士の働き方相談ミニセミナー」 日時：①9月13日(水)10時～11時 ②令和6年2月7日(水)13時30分～14時30分 ③令和6年2月9日(金)13時30分～14時30分 会場：①中央市役所本館 防災対策室2 ②笛吹市役所 市民窓口館102会議室 ③甲府市立中央保育所 ホール 参加者：①12名 ②11名 ③5名 計28名 内容：①「休憩について～法的な整理と休憩の重要性～」 ②「保育施設におけるリスク管理～個人情報漏洩や保育事故を題材に～」 ③「休憩について～法的な整理と休憩の重要性～」 講師：弁護士法人ファーストパートナーズ 弁護士 古屋 文和 さん</p>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>(3) 保育所等における要支援児対応巡回支援・専門家派遣事業  支援が必要な園児を受け入れている保育所等に対し、心理士や精神保健福祉士などの専門家を派遣し、要支援児に対する日常保育における関わり方や保育環境の整備などについて相談支援を行う。  ・専門家派遣：随時</p>	<p>○保育士の働き方相談セミナー「発達が気になる子の保育」  日 時：令和6年2月29日（木）9時55分～16時00分  会 場：かいてらす 2階大会議室  参加者：44名【対面10名・オンライン37施設】  内 容：講義「保育における困り感と子どもの発達支援に対する応用行動分析的アプローチ」  講師：山梨大学 准教授 松下 浩之さん  講義「行動・発達面に気がかりがある子どもにも分かりやすい保育について考える」  講師：山梨県立大学 教授 阿部 美穂子さん</p> <p>②専門家の派遣調整 90件【0件】</p> <p>(3) 保育所等における要支援児対応巡回支援・専門家派遣事業  年度途中で委託内容の変更があったため、専門家派遣については、(2)保育現場の働き方改革の支援・専門家派遣事業での実施となった。</p>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績								
<p>3 保育人材の確保に係る貸付事業</p> <p>(1) 保育補助者雇上費貸付</p> <p>保育士の雇用管理や労働環境の改善に積極的に取り組んでいる保育所等に対し、保育所に勤務する保育士資格を持たない保育補助者の雇上げに必要な費用の一部貸付を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付内容：保育士資格を持たない保育補助者の雇上げに要する費用</li> <li>・対 象：新たに保育補助者の雇上げを行う保育施設・事業所</li> <li>・返還免除：保育補助者が保育の補助等に従事し、貸付期間中に保育士資格を取得、又は貸付終了後1年以内に保育士資格を取得することが見込まれることにより返還免除</li> </ul> <p>・令和5年度貸付予定：4施設（継続：3施設、新規1施設）</p> <p>【貸付額】1施設あたり年額2,953,000円以内</p> <p>※貸付申請日の属する年度の4月1日における常勤の保育士に占める未就学児を持つ保育士の割合が2割以上の施設又は事業所において、貸付により2人以上の保育補助者を雇い上げる場合には以下の加算額を加えることができる。</p> <p>加算額：年額2,215,000円以内</p> <p>4 福祉施設経営指導事業</p> <p>(1) 経営指導員による相談事業</p> <p>社会福祉施設を運営する全ての社会福祉法人等を対象に、福祉施設経営指導員による社会福祉法人、施設全般に関する相談（来所・電話・文書・訪問）を行う。</p> <p>(2) 福祉施設経営指導連絡協議会の開催（年1回）</p>	<p>3 保育人材の確保に係る貸付事業</p> <p>(1) 保育補助者雇上費貸付</p> <p>①貸付決定数：0件 0千円【1件/0千円】</p> <p>②継続貸付件数（～令和5年度までに契約した貸付者） ：4件 15,336千円【3件/13,121千円】</p> <p>③返還猶予決定件数：0件【0件】 (R6.3.31時点返還猶予施設合計：0件)</p> <p>④返還免除決定件数：1件</p> <p>⑤返還決定件数：0件 (R6.3.31時点返還施設合計：0件)</p> <p>4 福祉施設経営指導事業</p> <p>(1) 経営指導員による相談事業</p> <p>【相談内訳】</p> <table data-bbox="1344 1053 1792 1212"> <tr> <td>経営一般相談</td> <td>22件【49件】</td> </tr> <tr> <td>法律相談</td> <td>3件【0件】</td> </tr> <tr> <td>財務会計相談</td> <td>1件【1件】</td> </tr> <tr> <td>労務管理相談</td> <td>4件【0件】</td> </tr> </table> <p>事業運営に関する契約、収益に係る納税、高齢者雇用、定年制、預り金の処理などに関する相談等</p> <p>(2) 福祉施設経営指導連絡協議会の開催（年1回）</p> <p>期日：3月</p> <p>方法：書面開催</p>	経営一般相談	22件【49件】	法律相談	3件【0件】	財務会計相談	1件【1件】	労務管理相談	4件【0件】
経営一般相談	22件【49件】								
法律相談	3件【0件】								
財務会計相談	1件【1件】								
労務管理相談	4件【0件】								

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>(3) リーフレットの作成・配布（年1回）</p> <p>(4) 社会福祉施設役員研修会の開催（※社会福祉法人経営者協議会と連携）</p> <p>(5) 社会福祉法人のニーズ把握のためのアンケートの実施（※社会福祉法人経営者協議会と連携）</p>	<p>(3) リーフレットの作成・配布（年1回） 作成数：500部 配布先：県内社会福祉法人、各種会議・セミナー等の開催時配付</p> <p>(4) 社会福祉施設役員研修会の開催（※社会福祉法人経営者協議会と連携） （再掲） （第1回） ・期 日 8月25日（金） ・会 場 アピオ甲府タワー館 ・参加者 20法人27名 ・内 容 講義「経営セミナー」 ・講 師 全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 遠部 敦也 さん</p> <p>（第2回） ・期 日 11月24日（金） ・会 場 ベルクラシック甲府 ・参加者 23法人43名 ・内 容 講演「リーダーシップの7つのルール」 ・講 師 (株)オープンプラットフォーム 代表取締役 池田 貴将 さん（第1回）</p> <p>（第3回） ・期 日 令和6年2月8日（木） ・会 場 アピオ甲府タワー館 ・参加者 33法人46名 ・内 容 講義「経営セミナー」 ・講 師 全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 大崎 雅子 さん</p> <p>(5) 社会福祉法人のニーズ把握のためのアンケートの実施（※社会福祉法人経営者協議会と連携） ・セミナー参加者に対して実施</p>

### 推進施策3 地域福祉を支える人づくり

#### 実施事業(4) 福祉・介護職員を支援するための現場ニーズに応じたオンラインを活用した新たなスタイルによる研修

(介護福祉総合支援センター)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>1 福祉・介護職員を対象とした専門的な知識・技術研修            (1) 介護職員キャリア形成技術指導研修            事業所から要望の多い介護技術の習得を目的とした研修会を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：年6回</li> <li>・対象：福祉施設等の介護職員</li> <li>・定員：各20名</li> </ul>	<p>1 福祉・介護職員を対象とした専門的な知識・技術研修            (1) 介護職員キャリア形成技術指導研修</p> <p>①山梨県立大学            ・期日：9月7日(木)            ・講師：教授 中島 朱美 さん            ・参加者：11名【13名】            ・内容：「高齢者虐待につながる介護現場の落とし穴」</p> <p>②健康科学大学            ・期日：10月2日(月)            ・講師：専任講師 渡邊 隆文 さん            ・参加者：9名【9名】            ・内容：「メンタルヘルスとコミュニケーション」</p> <p>③身延山大学            ・期日：10月24日(火)            ・講師：特任講師 建守 善之 さん                      准教授 佐々木 さら子 さん            ・参加者：5名【3名】            ・内容：「高齢者と医療」</p> <p>④優和福祉専門学校            ・期日：11月2日(木)            ・講師：専任教員 高野 享子 さん            ・参加者：12名【7名】            ・内容：「QOLを高める生活支援の視点」</p> <p>⑤大原学園甲府校            ・期日：11月10日(金)</p>



計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(2) 福祉・介護職員キャリアパス支援研修 福祉・介護現場での就労年数や職階層等に応じた研修会を開催する。</p> <p>①中堅職員・チームリーダー研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：年2回</li> <li>・対象：職務経験5年以上の中堅職員・リーダー職員</li> <li>・定員：各50名</li> </ul> <p>②マネジメント研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：年2回</li> <li>・対象：施設長・管理者を含む経営層</li> <li>・定員：各30名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師：講師 松本 浩太郎 さん</li> <li>・参加者：7名【6名】</li> <li>・内容：「障がいのとらえ方と生活支援・ICFを活用して」</li> </ul> <p>⑥帝京福祉専門学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日：12月25日(月)</li> <li>・講師：専任教員 長坂 健司 さん 専任教員 堀 真一 さん</li> <li>・参加者：15名【8名】</li> <li>・内容：「自立支援に向けた基礎介護技術」</li> </ul> <p>(2) 福祉・介護職員キャリアパス支援研修</p> <p>①中堅職員・チームリーダー研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師：介護哲学研究室カイゴテラス 代表 前田 卓弥さん</li> <li>・会場：山梨県福祉プラザ</li> <li>・期日：8月23日(水)・10月20日(金)</li> <li>・内容：1日目 リーダーとして職員のモチベーションアップのための指導法や、職場作りについて学ぶ 2日目 リーダーとして求められるOJTの質の向上を図り、職員を指導するポイントを学ぶ</li> <li>・参加者：1日目48名 2日目43名</li> </ul> <p>②マネジメント研修</p> <p>(第1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日：9月20日(水)</li> <li>・会場：山梨県福祉プラザ</li> <li>・講師：ラッセルズ株式会社 代表取締役 平野 健一郎 さん</li> <li>・参加者：26名</li> <li>・内容：「管理職スキル・マネジメント研修」</li> </ul> <p>(第2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日：12月15日(金)</li> <li>・会場：山梨県福祉プラザ</li> </ul>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>2 現場のニーズに応じた自主研修事業</p> <p>(1) 企画研修事業</p> <p>専門的な知識や技術を学ぶ研修会を開催し、福祉・介護サービスの質の向上と福祉・介護施設等における職員の定着を図る。</p> <p>【参集型研修】</p> <p>新①社会福祉関係職員初任者研修（県内2カ所 計4日間）</p> <p>初任者の階層向けに共通して必要な内容（接遇マナー／ストレスマネジメント／アンガーマネジメント／労働教育）の研修を実施する。</p> <p>対象：山梨県内の社会福祉施設・団体に勤務する初任者層（概ね入職3年以内）の職員</p> <p>定員：60名</p> <p>新②広報力強化研修（3日間）</p> <p>3日間の研修で自施設の求職者向け紹介動画作成に向けた研修を実施し、実際の成果物づくりを通じて実践的な広報活動の力を身に着ける。（企画編・撮影編・編集編）</p> <p>対象：山梨県内の社会福祉施設・団体に勤務する職員</p> <p>定員：30名</p>	<p>・講師：ラッセルズ株式会社 代表取締役 平野 健一郎さん</p> <p>・参加者：27名</p> <p>・内容：「人材力育成強化研修」</p> <p>2 現場のニーズに応じた自主研修事業</p> <p>(1) 企画研修事業【参集型】</p> <p>新①社会福祉関係職員初任者研修</p> <p>【1日目】</p> <p>・内容：「福祉の職場のビジネスマナーと接遇スキル」</p> <p>・講師：山梨学院大学経営学部経営学科 教授 立石 貴子さん</p> <p>【2日目】</p> <p>・内容：「ストレスマネジメントとアンガーマネジメント」「働く上で知っておきたい労働基準法の基礎知識」</p> <p>・講師：生活と福祉マインド研究室 主宰 梅沢 佳裕 さん 田中社会保険労務士事務所 代表取締役 田中 雅彦さん</p> <p>(甲府会場)・期日：6月22日(木)・7月24日(月)</p> <p>・会場：山梨県福祉プラザ</p> <p>・参加者：1日目 11名、2日目 11名</p> <p>(都留会場)・期日：6月29日(木)・7月25日(火)</p> <p>・会場：都留市ふるさと会館</p> <p>・参加者：9名(1日目)・9名(2日目)</p> <p>新②福祉職場の魅力発信研修【参集型】</p> <p>・会場：山梨県福祉プラザ</p> <p>【1日目】企画編</p> <p>・期日：7月28日(金)</p> <p>・参加者：8名</p> <p>・講師：anlib株式会社 代表取締役 堀内 麻実 さん</p> <p>・内容：「伝えたい相手に届けるための企画の考え方」</p> <p>【2日目】撮影編</p>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>【オンデマンド型研修】</p> <p>新③リスクマネジメント情報活用研修  インシデント分析を通じた効果の高いリスク管理の手法を学び、社会福祉の現場における事故防止の能力向上を図る。  実施方法：期間を設定し配信  対象：山梨県内の社会福祉施設に勤務する職員</p> <p>新④メンタルヘルスマネジメント研修  日常からの職員の心のケアとメンタルに不調をきたした職員への関わり方や復帰に向けた配慮や支援などのポイントを学ぶ。  実施方法：期間を設定し配信  対象：山梨県内の社会福祉施設・団体に勤務する職員</p> <p>新⑤法的トラブル予防対応研修  社会福祉分野の法的トラブル（訴訟）の事例から、事前事後の適切な対応を学ぶとともに、押さえておきたい法律の基本的な知識を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期日：9月15日（金）</li> <li>・参加者：8名</li> <li>・講師：都留市社会福祉協議会 社会福祉士 秋山 悠一郎さん</li> <li>・内容：「動画撮影に必要なもの・撮影のポイント・撮影の実践」</li> </ul> <p>【3日目】編集編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日：11月17日（金）</li> <li>・参加者：8名</li> <li>・講師：都留市社会福祉協議会 社会福祉士 秋山 悠一郎さん</li> <li>・内容：「撮影編で学んだ事を元に撮影してきた動画を編集し施設の紹介動画を作成」</li> </ul> <p>新③リスクマネジメント研修【集合+オンライン研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日：9月29日（金）</li> <li>・参加者：8名</li> <li>・会場：山梨県福祉プラザ</li> <li>・講師：健康科学大学看護学部看護学科 教授 小林 美雪さん</li> <li>・内容：「再発防止の観点と未然防止の観点からリスクマネジメントについて考える」</li> </ul> <p>新④福祉職場におけるメンタルヘルスマネジメント研修  【集合+オンライン研修】  （山梨産業保健総合支援センター共催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日：10月31日（火）</li> <li>・参加者：18名</li> <li>・会場：山梨県福祉プラザ</li> <li>・講師：山梨産業保健総合支援センター 産業保健相談員 臨床心理士・公認心理士 後藤 由美子さん</li> <li>・内容：「メンタルヘルスの基礎を学ぶとともに職場のメンタルヘルスマネジメントを考える」</li> </ul> <p>新⑤法的トラブル予防対応研修【動画配信型研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日：令和6年1月～2月</li> <li>・方法：動画配信</li> </ul>

計画内容	実施報告（状況） ※【 】内は前年度実績
<p>学ぶ 実施方法：期間を設定し配信 対象：山梨県内の社会福祉施設・団体に勤務する職員</p> <p>⑥保育活動におけるリスク・コミュニケーション研修 保育活動における重大事故防止のため、活動場面における安全管理のポイントや事故を防ぐためのコミュニケーションの方法を学ぶとともに、保護者の理解を得ていくためのリスク・コミュニケーションに関する研修を実施する。 実施方法：期間を設定し配信 対象：山梨県内の保育園・認定こども園・幼稚園等に勤務する職員</p> <p>(2) その他、福祉・介護の現場における課題やニーズに則したテーマの研修を随時開催する。</p> <p>3 新たなスタイルでの研修の検討・実施 上記の企画研修のほか、オンデマンド研修体制を充実させていくための検討・企画をすすめ、適宜実施していく。 ・実施回数：随時 ・開催方法：オンラインまたは対面形式</p>	<p>・講師：弁護士法人おかげさま 弁護士 外岡 潤 さん ・申込数 19 法人 ・内容：「裁判例から学ぶ介護施設・事業所のご家族対応」</p> <p>⑥保育活動におけるリスク・コミュニケーション研修 【動画配信型研修】 ・期日：5月25日～ 申込随時受付 ・講師：山梨学院短期大学 中込 まゆみ さん、 深沢 佐恵香 さん、樋川 隆 さん</p> <p>・申込数：108 件 ・内容：「保育現場で実際に事故（リスク）が生じたときの職員間のコミュニケーションの取り方や事前の体制づくりについて学ぶ」</p> <p>(2) その他、福祉・介護の現場における課題やニーズに則したテーマの研修を随時開催する。 研修ニーズ把握のための、アンケート調査を実施 調査対象 高齢・障害施設事業所 886 カ所 求人・求職システム登録事業所 調査期間 令和6年1月20日（土）～ 1月27日（土） 調査内容 開催場所・開催日時・研修テーマ・開催方法等 回答数 102 件</p> <p>3 新たなスタイルでの研修の検討・実施 下記の研修をオンラインを組み合わせ行った。2（2）のアンケート調査を踏まえ、研修効果を最大化するため参集型・オンライン（ライブ・オンデマンド）等を選択し、研修の企画・実施を継続する。 【集合+オンライン研修】 ③リスクマネジメント研修 ④メンタルヘルスマネジメント研修 【オンデマンド】 ⑤法的トラブル予防対応研修</p>

### 推進施策3 地域福祉を支える人づくり

#### 実施事業(5) 地域福祉への理解・参加促進

(介護福祉総合支援センター、総務企画課)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>新1 家族介護者等への支援</p> <p>(1) 一般県民を対象とした福祉・介護に関する講座の開催</p> <p>①小学生を対象とした講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「夏休み認知症キッズサポーター養成講座」</li> </ul> <p>②認知症に関する講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「認知症疑似体験」 仮想現実(VR)を通して認知症疑似体験を行い、認知症を患う高齢者の立場や気持ちへの理解を深める。</li> <li>・「認知症キャラバン・メイト養成講座」</li> </ul> <p>③「リクエスト講座」</p> <p>福祉用具体験や高齢者疑似体験など、依頼元のニーズに合わせた講座内容を組み立て実施する。</p> <p>(2) 高齢者介護している家族(養護者)を対象とした講座</p> <p>①食事・口腔ケアに関する講座</p> <p>②認知症に関する講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の方への接し方</li> <li>・チームでサポートする認知症の介護等</li> </ul> <p>③在宅療養に関する講座</p> <p>④テーマ別講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者のストレス解消法</li> <li>・本人の力を引き出す介助の方法等</li> </ul>	<p>新1 家族介護者等への支援</p> <p>(1) 一般県民を対象とした福祉・介護に関する講座の開催</p> <p>①小学生を対象とした講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「夏休み認知症キッズサポーター養成講座」 1回開催 受講者 計7名</li> </ul> <p>②認知症に関する講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「認知症疑似体験」 4回開催 受講者 計84名</li> <li>・「認知症キャラバン・メイト養成講座」 2回開催 受講者 計102名</li> </ul> <p>③「リクエスト講座」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験講座等 27回開催 受講者 計506名</li> </ul> <p>(2) 高齢者介護している家族(養護者)を対象とした講座</p> <p>①「口からはじめる健康づくり」ほか、 3テーマ 受講者 計51名</p> <p>②「認知症介護経験者のお話」ほか 4テーマ 受講者 計74名</p> <p>③「家で迎える終末期について考える」 受講者 18名</p> <p>④「介護者のストレス解消法」ほか 5テーマ 受講者 計63名</p>



計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>⑤報道機関等を利用した広報 新聞やテレビ、ラジオ等を活用し、各種介護講座の開催案内を行う。</p> <p>⑥ホームページ、フェイスブック等の活用 センター開設のホームページやフェイスブック、インスタグラムを活用し、各種介護講座の受講案内や報告、また関係機関が実施する研修会などのイベント情報などを随時掲載し、より多くの県民等に情報を発信する。</p> <p>2 山梨県社会福祉大会の開催 本県の社会福祉の発展に功績のあった個人・団体に対し、感謝の意を表すための表彰式を開催する。 第71回山梨県社会福祉大会の開催 (方 法) 第一部：式典、表彰 (①県知事 ②県社会福祉協議会会長 ③中央共同募金会会長・県共同募金会会長) 第二部：講演会 (参 加 者) 被表彰者、市町村行政・社会福祉協議会職員等 (参加者数) 1,000名 (開 催 日) 令和5年11月16日(木)(予定) (開催場所) YCC県民文化ホール 大ホール</p>	<p>⑤報道機関等を利用した広報(介護講座等の案内) 新聞(無料) 5回 甲府市回覧板 3回</p> <p>⑥ホームページ、フェイスブック等の活用 フェイスブック掲載 24件 インスタグラム掲載 24件</p> <p>2 山梨県社会福祉大会の開催 開催日 令和5年11月16日(木)午後1時30分～3時30分 会 場 YCC県民文化ホール 大ホール 内 容 第一部 式典、表彰 県知事表彰、県社協会長表彰・感謝状、中央共同募金会感謝楯・感謝状個人218人・団体18団体 【個人216人・団体26団体】 第二部 記念講演 「誰一人取り残さない社会へ ひとり一人が主役の地域づくり」 講師 独立行政法人 国立女性教育会館 理事長 萩原 なつ子 さん 参加者 364人【160人】</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>3 共同募金活動への協力 共同募金を活用する施設・団体の協力を得ながら、共同募金の啓発を兼ねた街頭募金活動を行う。</p> <p>(1) 赤い羽根共同募金街頭募金活動の実施 (方 法) 県内の社会福祉施設・団体等とともに、甲府駅周辺等で街頭募金活動を行う。参加者募集については、募集方法等の検討を行い、参加者の増を図る。 (対 象) 県内の社会福祉施設・団体、ボランティア、中学生以上の県民 (時 期) 10月 &lt;参考：街頭募金の実績&gt; 令和2年度：参加人数 72名 参加協力 47 施設・団体 募金額 69,937 円 (10月1・2・5日の3日間) ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として1団体の参加人数最大2人とした。 令和3年度：参加人数 76名 参加協力 45 施設・団体 募金額 68,959 円 (12月8・9・10日の3日間) 令和4年度：参加人数 68名 参加協力 41 施設・団体 募金額 81,952 円 (11月7・8・9日の3日間)</p> <p>(2) 歳末たすけあい運動への協力 歳末たすけあい運動の主唱団体として、県民の運動に対する理解と参加を広げるための広報活動を行う。 (方 法) 主唱団体として、県内の市町村社会福祉協議会に対し広報活動を行う (対 象) 県内の市町村社会福祉協議会 (時 期) 12月</p>	<p>3 共同募金活動への協力 県内の福祉施設・団体に参加・協力をいただき甲府駅周辺で街頭募金活動を実施した。</p> <p>(1) 赤い羽根共同募金街頭募金活動の実施 実 施 日 10月2日(月)～4日(水) 【令和4年11月7日(月)～9日(水)】 参加人数 106名【68名】 参加協力 49施設・団体【41団体】 募金額 141,887円【81,952円】</p> <p>(2) 歳末たすけあい運動への協力 期 間 12月 ・県内市町村社会福祉協議会等へ向け歳末たすけあい運動の実施について協力要請を行うとともに、NHKから提供されたチラシ・ポスターを配布した。(11月) ・たすけあい物品贈呈式へ出席した。(令和6年1月16日(月))</p>



推進施策4 災害に備える体制づくり

実施事業(1) 山梨県災害救援ボランティア本部機能の強化及び市町村社会福祉協議会における災害対応の取り組みへの支援

(総務企画課・福祉振興課)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(災害時支え合いプロジェクト)</p> <p>(1) 市町村社会福祉協議会が行う取り組みへの支援 市町村社協災害ボランティアセンターが円滑に設置・運営できるよう、災害ボランティアセンターの運営に関わる者のスキルアップ及び支援体制の強化を図る。</p> <p>①災害ボランティアセンター開設・運営訓練 ・実施回数 年1回 ・対象 市町村社協職員</p> <p>②市町村災害ボランティアセンター開設・運営訓練への支援・参画(随時)</p> <p>③災害ボランセンター運営マニュアル策定支援(随時)</p>	<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(災害時支え合いプロジェクト)</p> <p>(1) 市町村社会福祉協議会が行う取り組みへの支援</p> <p>①災害ボランティアセンター開設・運営訓練 ・期 日 令和6年1月30日(火) ・場 所 市川三郷町生涯学習センター ・参加者 37名(16市町村) 【30名】 ・内 容 災害ボランティアセンター設置運営訓練</p> <p>②市町村災害ボランティアセンター開設・運営訓練への支援・参画 ・回 数 講師対応: 4か所4日間 【4か所6日間】 研修・訓練への参画: 1か所4日間 【3か所8日間】 ・講師対応 1市2町1村【1市3町】 甲斐市 6月20日(火) 市川三郷町 6月20日(水) 昭和町 6月27日(火) 山中湖村 11月29日(水) ・研修・訓練への参画 1町【1市1町1村】 昭和町 11月14日(火)、11月22日(水)、 11月26日(日)、11月28日(火)</p> <p>③災害ボランセンター運営マニュアル策定支援 ・マニュアル策定・改正を行う社協なし</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(2) やまなし福祉救援活動推進員研修会          県・市町村社協の災害時における相互支援協定に基づき、やまなし福祉救援活動推進員の登録・更新を行い、対象社協職員のスキルアップを図り、被災者支援活動に対する体制強化を図る。          ・実施回数 年1回          ・対象 市町村社協職員(相互支援協定登録者)</p> <p>(3) ICTを活用した災害ボランティアセンター運営方法の検討          県内取り組み事例の収集・提供、ICTを活用した災害ボランティアセンター運営方法の検討          ①他県の先進事例の情報収集          ②市町村社会福祉協議会への説明会等の実施          ③災害ボランティアセンター運営へのICT導入検討</p> <p>2 山梨県災害救援ボランティア本部機能の強化</p> <p>(1) 山梨県社会福祉協議会 職員向け研修・訓練の実施</p> <p>(2) 本部設置運営マニュアルの職員向け研修の開催(年1回)</p> <p>(3) 地震、水害等の災害発生状況に応じた本部各班業務の訓練の実施(年1回)</p> <p>(4) 本部設置運営訓練の実施(年1回)</p> <p>(5) 市町村社協災害ボランティアセンターとの連携</p> <p>(6) 災害時相互支援協定締結団体との連携</p> <p>(7) 本部運営マニュアルの点検・見直し(随時)</p>	<p>(2) やまなし福祉救援活動推進員研修会          ・期 日 8月7日(月)          ・場 所 山梨県立図書館2階多目的ホール          ・参加者 39名【45名】          ・内 容 講義「多様な主体との連携・協働に向けた災害ボランティアセンター運営」          ・講 師 Office SONOZAKI 代表 園崎 秀治 さん</p> <p>(3) ICTを活用した災害ボランティアセンター運営方法の検討          ・災害ボランティアセンター運営体制強化に向けたKintoneの導入          ・期日 令和6年3月</p> <p>2 山梨県災害救援ボランティア本部機能の強化</p> <p>(1) 山梨県社会福祉協議会 職員向け研修・訓練の実施          本部運営マニュアルの見直し中のため、未実施。</p> <p>(2) 本部設置運営マニュアルの職員向け研修の開催          同上</p> <p>(3) 地震、水害等の災害発生状況に応じた本部各班業務の訓練の実施          同上</p> <p>(4) 本部設置運営訓練の実施          県地震防災訓練に併せ、職員の安否確認、参集訓練を実施。</p> <p>(5) 市町村社協災害ボランティアセンターとの連携          ①災害ボランティアセンター開設・運営訓練支援(再掲)          講師対応：4か所4日間          研修・訓練への参画：1か所4日間</p> <p>(6) 災害時相互支援協定締結団体との連携</p> <p>(7) 本部運営マニュアルの点検・見直し(随時)</p>

推進施策4 災害に備える体制づくり

実施事業(2) 関係者と連携したネットワークの組織化による災害時の広域支援体制の構築及び協議・検討する場の整備

(福祉振興課、総務企画課)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(災害時福祉支援プロジェクト)                      災害時に要配慮者を速やかに支援につなげるための取り組みを平時から行い、福祉関係者と協働した支援体制づくりにつなげる。</p> <p>(1) 災害福祉支援ネットワーク会議の運営                      ①山梨県災害福祉支援ネットワーク会議の運営                      ②多様な組織・団体との情報共有・連携</p> <p>(2) 山梨DWATの運営                      ①山梨DWAT事務局運営                      ②山梨DWATチーム員登録のとりまとめ</p> <p>③山梨DWAT(災害時福祉支援チーム)活動の周知・理解促進                      ・山梨DWATに関する説明会の実施                      実施回数 年1回</p>	<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(災害時福祉支援プロジェクト)</p> <p>(1) 災害福祉支援ネットワーク会議の運営                      ①②令和6年能登半島地震に係る山梨DWAT派遣                      ・派遣期間 令和6年2月15日(木)～3月3日(日)                      ・派遣人数 4クール計17名(内事務局4名が同行)                      ・活動場所 いしかわ総合スポーツセンター(1.5次避難所)</p> <p>(2) 山梨DWATの運営                      ①山梨DWAT事務局運営                      ②山梨DWATチーム員登録のとりまとめ                      山梨DWAT登録員 84名【41名】                      ③-1山梨DWATに関する説明会の実施                      ・期日 8月4日(金)                      ・場所 市川三郷町生涯学習センター                      ・参加者 21名【66名】                      ・内容 災害福祉支援ネットワーク会議及び山梨DWATに関する説明                      静岡DWAT活動事例                      静岡県社会福祉協議会 松永 和樹 さん</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>・山梨DWAT周知パンフレットの作成</p> <p>④山梨DWAT(災害時福祉支援チーム)の組成及び体制強化に向けた研修会等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 年1回</li> <li>・対象 DWAT登録者</li> </ul> <p>⑤多様な組織・団体との情報共有・連携</p>	<p>③-2山梨DWAT周知パンフレットの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成部数 5,000部【5,000部】</li> <li>・配布先 山梨県災害福祉支援ネットワーク会議構成団体を通じ、県内福祉施設等へ配布</li> </ul> <p>④山梨DWAT登録時研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日 9月21日(火)</li> <li>・場 所 アイメッセ山梨4階会議室</li> <li>・参加者 43名【41名】</li> <li>・内 容 行政説明、地震・水害を想定した演習</li> <li>・講 師 県福祉保健総務課職員、本会職員</li> </ul> <p>⑤多様な組織・団体との情報共有・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部ブロックDMAT実動訓練への参画</li> <li>・期 日 10月14日(土)</li> <li>・場 所 山梨県防災新館</li> </ul> <p>臨2 令和6年能登半島地震に係る応援職員の派遣</p> <p>①石川県内の生活福祉資金(緊急小口資金)特例貸付窓口業務に係る応援職員の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣期間 令和6年1月30日(火)～2月2日(金)</li> <li>・派遣人数 2名(県社協2名)</li> <li>・活動場所 宝達志水町社会福祉協議会</li> </ul> <p>②石川県内災害ボランティアセンター運営支援に係る関東Bブロック社会福祉協議会応援職員の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣期間 令和6年2月8日(木)～3月31日(日)</li> <li>・派遣人数 5クール計12名(県社協5名・市町村社協7名)</li> <li>・活動場所 中能登町災害ボランティアセンター 七尾市災害ボランティアセンター</li> </ul>

## 推進施策4 災害に備える体制づくり

### 実施事業(3) 福祉関係者と連携・協働した様々な感染症に対応した災害支援体制づくり

(福祉振興課)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(災害時支え合いプロジェクト) 災害時に要配慮者を速やかに支援につなげるための取り組みを平時から行い、福祉関係者と協働した支援体制づくりにつなげる。</p> <p>(1) 市町村災害ボランティアセンター運営マニュアルの策定支援 ① 感染症の特徴に応じたマニュアルの改定(随時) ② 市町村社協への説明会の実施(随時)</p> <p>(2) ICTを活用した災害ボランティアセンターの運営方法の検討 ・目的: ボランティア登録・受付等の業務効率化 ボランティア募集状況や活動内容の情報発信の簡略化 県内市町村災害ボランティアセンター及び災害救援ボランティア本部との、迅速な情報共有</p> <p>(3) 一般避難所及び福祉避難所における福祉支援力の向上 ① 一般避難所等における支援力向上研修の実施 ・実施回数 年1回 ・対象 市町村社協職員、山梨DWA Tチーム員等</p>	<p>1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(災害時支え合いプロジェクト)</p> <p>(1) 市町村災害ボランティアセンター運営マニュアルの作成支援 やまなし福祉救援活動推進員研修にて情報提供を実施</p> <p>(2) ICTを活用した災害ボランティアセンターの運営方法の検討 ・災害ボランティアセンター運営体制強化に向けたKintoneの導入 ・期日 令和6年3月</p> <p>(3) 福祉避難所支援方法の検討 ・令和6年2月実施予定であったが、能登半島地震の発生に伴う山梨DWA T派遣および災害ボランティアセンター応援派遣対応のため未実施</p>

## 推進施策5 県社会福祉協議会の組織・基盤の充実強化

### 実施事業(1) 人材育成・事務局体制の強化

(総務企画課・各課所共通)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>1 職員研修の充実</p> <p>職員研修実施要綱・研修計画に基づき、職員の資質向上と事務局体制の強化を図るとともに、複雑多様化する福祉課題に対処できる人材を育成するため、職員研修を計画的に実施する。</p> <p>(1) 研修計画の進行管理</p> <p>(2) 職員研修の実施(新採用職員研修、階層別研修、課題別研修、能力開発研修、自己啓発研修)</p>	<p>1 職員研修の充実</p> <p>山梨県社会福祉協議会職員研修実施要綱を令和5年4月1日に施行した。</p> <p>(1) 研修の企画検討・計画策定</p> <p>職員研修計画及び令和5年度職員研修実施計画を策定し、これにより進行管理を行った。</p> <p>(2) 職員研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・局内新採用職員研修 5月10日(水) 受講者6名</li> <li>・県・市町村社協合同新採用職員研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 5月23日(火) 受講者30名 座学、講義</li> <li>第2回 6月13日(水) 受講者18名 ビジネスマナー</li> </ul> </li> <li>・管理職マネジメント研修 受講者3名 <ul style="list-style-type: none"> <li>4ヶ月間22時間30分のコーチングトレーニング 他</li> </ul> </li> <li>・課題別研修：ハラスメント研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般職員対象研修 5月8日(月) 受講者47名</li> <li>相談員対象研修 5月8日(月) 受講者7名</li> <li>管理職対象研修 5月12日(金) 受講者11名</li> </ul> </li> <li>・課題別研修：クレーム対応研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>10月18日(水) 受講者42名</li> </ul> </li> <li>・職員講師課題別研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 県社協について(概要等) <ul style="list-style-type: none"> <li>11月2日(木) 受講者46名</li> </ul> </li> <li>第2回 生活支援課について <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年1月29日(月) 受講者41名</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>(3) 研修実績のとりまとめと評価</p> <p>(4) 次年度研修計画の策定等</p> <p>2 資格取得推進事業  職員の資質向上を目的に本会で定める「資格取得推進事業実施要領」に基づき、社会福祉士、精神保健福祉士など本会業務の遂行上有用と認められる国家資格を取得した職員に対し資格取得に係る費用の助成を行う。  (対象資格) 社会福祉士、精神保健福祉士、その他会長が業務遂行上、必要と認めた資格等  (助成費用) 授業料、実習費、スクーリング費用、テキスト代等(上限20万円)、試験受験料(全額)</p>	<p>(3) 研修実績のとりまとめと評価  令和5年度職員研修実施計画に基づき実施してきたが「新潟・長野・山梨3県社協合同若手研修」等については、能登半島地震被災地支援等により、実施できない研修があった。</p> <p>(4) 次年度研修計画の策定等  職員研修計画に基づき、令和6年度職員研修実施計画(案)を策定</p> <p>2 資格取得推進事業  資格取得に係る講座情報及び、助成事業の周知を行った。  令和5年度の資格取得者は無かったため、引き続き、助成制度を周知し、活用を図ることとした。</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>3 事業継続計画（BCP）の策定・運用            自然災害や感染症の拡大を想定したBCPを策定するとともに、随時見直していくことで緊急時においても継続しなければならない事業・業務に対応できるよう、推進体制の強化を図る。</p> <p>(1) BCPの策定、BCM、BCPに基づく事業推進体制の強化</p> <p>①法人全体の計画の策定</p> <p>②計画に基づく事業推進体制の検証・強化</p> <p>③BCPに係る職員研修の実施（年1回）</p>	<p>3 事業継続計画（BCP）の策定・運用</p> <p>(1) BCPの策定、BCM、BCPに基づく事業推進体制の強化</p> <p>①法人全体の計画の策定            災害時の優先業務の整理を踏まえ、災害救援ボランティア本部の運営が優先業務にあたることから、災害救援ボランティア本部の運営に係るBCPの策定を検討中。</p> <p>②計画に基づく事業推進体制の検証・強化            災害救援ボランティア本部の体制について検討中。</p> <p>③BCPに係る職員研修の実施（年1回）            研修会の実施には至らなかったが、BCP策定に向けた検討会を実施した。</p>



推進施策5 県社会福祉協議会の組織・基盤の充実強化

実施事業(2) 継続的な組織運営に必要な財源の確保・コスト削減の推進

(総務企画課、各課所共通)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>1 会費・寄付金等の財源の確保・充実                      本会の自主財源の中心となる会費・寄付金・広告料・手数料収入の維持・拡大のため、積極的なPR活動を通じて自主財源の確保に取り組む。</p> <p>(1) 会費収入の拡大 (令和4年度会員数 512 施設・団体)                      会員の拡大 (DM・HP・広報誌での個人・企業等への会員の募集)</p> <p>(2) 寄付金の拡大                      寄付金受付のPRの強化 (ホームページ、広報誌での募集)</p> <p>(3) 手数料収入の拡大                      各種幹旋業務の継続、ホームページ・広報紙への広告掲載企業の獲得のための募集PR活動の強化。</p> <p>2 経常経費の支出削減 (契約見直し、ペーパーレス化)                      財政基盤の強化を図るため、経常経費の見直しや、コストの削減に取り組む。</p> <p>(1) 経常経費の見直し・削減の実施</p> <p>(2) 機器等の契約の見直し (契約更新時)</p> <p>(3) デジタルデータを活用したペーパーレス化による消耗品及び経費の削減</p> <p>(4) コスト意識を伴った業務改善の実施 (時間外勤務の削減、休暇取得の推進等)</p>	<p>1 会費・寄付金等の財源の確保・充実</p> <p>(1) 会費収入の拡大                      県内外の関係企業、団体への会員勧誘を行った。</p> <p>(2) 寄付金の拡大                      新規1件 100万円</p> <p>(3) 手数料収入の拡大                      ホームページバナー広告 5件 8万円【2件4万円】                      家庭常備薬の幹旋 2回 75,372円【2回・59,351円】                      社会福祉手帳の幹旋 1回 183,456円【1回・197,712円】</p> <p>2 経常経費の支出削減 (契約見直し、ペーパーレス化)</p> <p>(1) 経常経費の見直し・削減の実施                      燃料費高騰などに対応した光熱水費の節約を呼びかけた。こまめな電源OFF等の推奨。</p> <p>(2) 機器等の契約の見直し (契約更新時)                      契約更新機器等については、見直し等を行った。</p> <p>(3) デジタルデータを活用したペーパーレス化による消耗品費及び経費の削減                      資料のデータ配付(メール)、サーバーでの共有により、ペーパーレス化を図った。</p> <p>(4) コスト意識を伴った業務改善の実施 (時間外勤務の削減、休暇取得の推進等)                      勤怠管理システムによる労働時間の客観的な把握、管理を行った。</p>

## 推進施策5 県社会福祉協議会の組織・基盤の充実強化

### 実施事業(3) 戦略的情報発信の強化

(総務企画課、各課所共通)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>1 広報メディアの効率的な活用促進</p> <p>(1) 広報活動の強化            広報活動ガイドラインに基づき、様々なメディアを通じた広報活動を積極的に行うほか、効果の検証や分析を行い、広報活動全体の強化を図る。また、必要に応じて随時、ガイドラインの見直しを行う。</p> <p>(2) 広報企画会議(局内)の実施(月1回 年12回)            戦略的な情報発信の強化を図るため、広報企画担当者による打ち合わせを月1回開催、広報紙の紙面構成やSNS等の情報発信ツールの有効な活用方法などを検討・実施する。</p> <p>(3) 広報委員会の開催(年1回)            本会が作成・運用している広報紙・ホームページ・SNSなどの情報発信に関し、適切な意見・アドバイスをいただく。            ・広報委員会委員:10名            (任期:2年 令和5年4月1日~令和7年3月31日)            構成:社会福祉施設・団体3名(児童・障害・高齢から各1名)、民生委員児童委員1名、社会福祉協議会・共同募金会・ボランティア関係4名、行政関係者1名、学識経験者1名</p> <p>(4) 広報紙「やまなしの福祉」の発行(年4回 各号8,500部を発行)            県内唯一の地域福祉総合誌として、県内の社会福祉関連の動向や課題などを取材し、掲載する。</p>	<p>1 広報メディアの効率的な活用促進</p> <p>(1) 広報活動ガイドラインの策定            ガイドラインの素案を策定            広報委員会や局内での検討を踏まえ完成予定。</p> <p>(2) 広報企画会議(局内)の実施            広報紙編集会議 7回【7回】</p> <p>(3) 広報委員会の開催            未開催</p> <p>(4) 広報紙「やまなしの福祉」の発行            夏号(6月)、秋号(9月)、冬号(12月)、春号(3月)の4回、各号8,500部を発</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績																																								
<p>2 ホームページとSNSの連携による情報発信の強化</p> <p>本会のオウンドメディア(本会で所有・管理するメディア)であるホームページ、SNSの充実と媒体間の連携、情報発信の強化を図り、県民や福祉関係者への本会活動のPRをはじめ、事業への理解と参加を広げる。</p> <p>(1) ホームページ「ふじの国 やまなし福祉ネット」の運用</p> <p>県社会福祉協議会の総合情報ページとして、広く県民へわかりやすい情報を届けられるよう、内容の充実を図る。</p> <p>また、他のSNSと連携し、発信する情報の参照先として活用することでページ訪問者数を増加させるとともに、情報のアーカイブ機能を充実することで地域福祉への関心を高める。</p> <p>(2) SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の運用強化</p> <p>広報企画会議での検討をもとに、SNSを積極的に活用した情報発信に取り組む。また、SNSを活用した企画などを検討し、幅広い方々が福祉の情報に触れる機会の創出を図る。</p>	<p>2 ホームページとSNSの連携による情報発信の強化</p> <p>(1) ホームページ「ふじの国 やまなし福祉ネット」の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜更新作業を行い、最新の情報を掲載した。 アクセス件数 86,039件【107,087件】</li> <li>・独自のホームページ開設 <ul style="list-style-type: none"> <li>①コミュニティ再生推進室(わたあめ)</li> <li>②介護支援センター</li> <li>③福祉人材センター(やまなし福祉のお仕事応援サイト)</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の運用強化 各課所のSNSの活用状況</p> <table border="1" data-bbox="1167 719 2112 1050"> <thead> <tr> <th></th> <th>LINE</th> <th>Instagram</th> <th>Facebook</th> <th>Twitter</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務企画課</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>生活支援課</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コミュニティ再生推進室</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>福祉振興課</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>介護支援センター</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>福祉人材センター</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>保育士・保育所支援センター</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		LINE	Instagram	Facebook	Twitter	総務企画課	—	—	○	—	生活支援課	—	—	—	—	コミュニティ再生推進室	—	○	—	—	福祉振興課	—	—	○	—	介護支援センター	—	○	○	—	福祉人材センター	○	—	—	○	保育士・保育所支援センター	○	○	—	○
	LINE	Instagram	Facebook	Twitter																																					
総務企画課	—	—	○	—																																					
生活支援課	—	—	—	—																																					
コミュニティ再生推進室	—	○	—	—																																					
福祉振興課	—	—	○	—																																					
介護支援センター	—	○	○	—																																					
福祉人材センター	○	—	—	○																																					
保育士・保育所支援センター	○	○	—	○																																					

## 推進施策5 県社会福祉協議会の組織・基盤の充実強化

### 実施事業(4) 職員が働きがいのある魅力的な職場づくり

(総務企画課)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>1 職員の働きやすい制度・職場環境の充実 働き方改革を進めるための各種制度等の検討をはじめ、職員の健康管理、働きやすい職場環境の充実に取り組む。</p> <p>(1) 働き方改革に対応した制度の検討・整備</p> <p>(2) 働きやすい職場づくりの検討・充実</p> <p>(3) 職員の健康管理、メンタルヘルスの充実</p> <p>(4) 効率的な業務推進に基づく休暇取得の推進</p> <p>(5) SDGsへの貢献に係る職員の意識啓発</p>	<p>1 職員の働きやすい制度・職場環境の充実</p> <p>(1) 働き方改革に対応した制度の検討・整備 ・就業規則を改正し、正規、非正規に関わらず特別休暇の取り扱いを同一とした。</p> <p>(2) 働きやすい職場づくりの検討・充実 ・公益通報者保護規程を制定(H6.4.1施行)した。</p> <p>(3) 職員の健康管理、メンタルヘルスの充実 ・職員衛生委員会の開催 実施日 毎月1回 第2木曜日 (内書面開催 5月・7月・9月・12月・2月) ・メンタルヘルスチェック(ストレスチェック 11月~12月実施)</p> <p>(4) 効率的な業務推進に基づく休暇取得の推進 ・夏季休暇取得率 100.0%【99.2%】 ・年次有給休暇取得率 84.8%【83.3%】(平均取得日数 13.9日)</p> <p>(5) SDGsへの貢献に係る職員の意識啓発 ・山梨県が推進する「やまなしSDGs推進企業」に12月1日付けで登録するとともに、2030年に向けた指標を3つ掲げ、職員へ周知するとともに、指標達成に向けた取り組みを行うこととした。</p>

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>2 職員提案事業の実施</p> <p>本会独自の取り組みとして、委託・補助事業ではできない職員の自由な発想に基づく県社協の組織強化や、地域福祉の諸課題の解決につながるような新たなモデル事業を職員から募集を行い、局内での選考を踏まえて実施する。</p> <p>提案事業の募集に際しては、募集要領を策定し、目的や事業内容、財源の確保など、局内での選考を踏まえて実施する。</p> <p>(1) 提案事業の募集(財源の確保の検討を含む)</p> <p>(2) 提案事項選考会の開催</p> <p>(3) 提案事業(モデル事業)の実施</p>	<p>2 職員提案事業の実施</p> <p>(1) 提案事業の募集(財源の確保の検討を含む) 新たに実施要項を策定し、10月中に全職員へメール配信により提案事業の募集を周知した。</p> <p>(2) 提案事業の選考会の開催 3事業の提案があり、11月7日に選考会を開催し、1事業を採択した。</p> <p>(3) 提案事業(モデル事業)の実施 若手職員グループの提案による「OPENプロジェクト」を実施。福祉プラザ内の関係機関をはじめ、県内の福祉分野以外で福祉と連携した活動を行う企業等との情報交換会を開催した。</p> <p>第1回 令和6年2月9日(金) 17名参加 第2回 2月21日(水) 19名参加 第3回 3月8日(金) 20名参加</p>

## 推進施策5 県社会福祉協議会の組織・基盤の充実強化

### 実施事業(5) ICT環境の整備・強化を通じた業務の効率化の促進

(総務企画課・各課所共通)

計画内容	実施報告(状況) ※【 】内は前年度実績
<p>1 ICT機器の検討・整備            日常業務での効率化をはじめ、災害時や感染症の拡大などの非常時にも円滑に業務が行えるよう、ICT機器の検討・整備を行う。</p> <p>(1) 必要な機器などの整備計画の策定</p> <p>(2) オンライン化の促進に向けた機器の検討・整備</p> <p>(3) 機器整備に必要な財源の検討・確保(活用可能な助成事業の検討など)</p> <p>2 職員のICTスキルアップ研修            各課所での業務におけるICT活用による業務の効率化や情報発信機能の強化を図るため、職員一人ひとりのICTへの理解を深めるための研修を実施し、知識や技術の向上を図る。</p> <p>(1) ICT研修会の企画(必要とする知識や技術の精査)</p> <p>(2) ICT研修会の実施(年2回)</p>	<p>1 ICT機器の検討・整備</p> <p>(1) 必要な機器などの整備計画の策定            WEB会議用機器の整備を行ったが、全体の機器の把握・整備計画の策定には至らなかった。</p> <p>(2) オンライン化の促進に向けた機器の検討・整備            職員による検討会を設置し、業務改善のためのクラウド型業務管理サービス活用に向けた検討を行った。</p> <p>(3) 機器整備に必要な財源の検討・確保(活用可能な助成事業の検討)            自主財源で対応可能な機器の整備中。今後、他の財源の活用は引き続き検討する。</p> <p>2 職員のICTスキルアップ研修</p> <p>(1) ICT研修会の企画(必要とする知識や技術の精査)            各課所でのICT導入状況の把握に留まった。</p> <p>(2) ICT研修会の実施(年2回)            研修会の企画検討を行った。</p>



---

〒400-0005 甲府市北新1丁目2-12 山梨県福祉プラザ4階  
TEL 055 (254) 8610  
FAX 055 (254) 8614

社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会 

令和6年5月作成

---